

大臣
次官
東亞局長
歐亞局長
亞米利加局長
通商局長
調査部長
情報部長
事務部長

極秘

臺灣總督府熱帶産業調査會報告書進達ノ件
今般出席ヲ命セラレタル臺灣總督府熱帶産業調査會ニ關シ別紙ノ通
及報告候也

昭和十年十一月十一日

外務書記官 加藤 三郎

外務大臣 廣田 弘毅 殿

外務省

10. 10.

臺灣總督府熱帶産業調査會報告書
臺灣總督府熱帶産業調査會ハ客十月十九日ヨリ二十三日迄五日間
ニ亘リ台北ニ施行官民五十餘名ノ委員ヲ以テ會議ヲ開催シ南支南
洋ニ對スル貿易ノ振興並ニ熱帶産業ノ開發助成ニ關シ下記六項即
チ(一)貿易ノ振興(二)企業及投資ノ助成(三)工業ノ振興(四)金融ノ改善(五)
交通施設ノ改善及(六)文化施設ノ改善ニ付夫々有效適切ナル方策ヲ
諮フ旨ノ諮問事項ニ對シ別冊ノ如キ浩瀚ナル答申案ヲ可決シ之ヲ
總督ニ答申シタルカ今回會議開催ノ内面的ノ主要目的ハ各方面ニ
就キ探查攻究ノ結果要スルニ有力ナル拓殖會社ノ設立ト言フ點ニ
盡クルモノト思料セラレタリ從テ右答申案ノ審議ニ當リテハ主ト
シテ同案第二號第五有力ナル拓殖機關ノ設置ニ關スル事項ナル項
目ノ審議ニ全力ヲ傾倒シ後述ノ如ク大体本省當局ノ意向ヲ貫徹シ
タリ本項ニ付テハ朝野ノ委員亦眞摯ナル態度ヲ以テ應酬スル所ア
リタリ

外務省

10. 10.

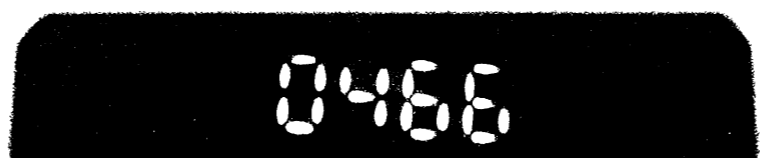


尙其ノ他ノ事項ニ付テハ對岸南支ヨリ出張シタル水澤香港總領事
 中村福州總領事及山田厦門領事夫々分擔審議ニ當リタリ
 抑々本調査會ノ目的トシテ稱ヘラルル所ハ台灣ヲ根據トスル本邦
 ノ南方發展方策ノ調査ニアリトセラレ居ル處右會議創設ノ由來ヲ
 尋ヌルニ全ク現拓相ノ創意ニ出テタルモノノ如ク(曩ニ拓務省ハ
 其ノ主管トシテ滿洲ヲ失ヒ伯國移民事務モ縮少セラレ同省ノ存在
 意義ニ疑念ナキヤノ虞アル際ナルヲ以テ右ハ想像ニ難カラザルベ
 ク)他方台灣總督府ニ於テモ二十年來ハ消極政策ニ終始シ居タル
 カ爲今回領台四十周年記念ノ期ヲ劃シ何等カ爲ス所アラムト欲シ
 旁々躍進日本ノ非常時局ノ潮流ニ乘シ茲ニ本調査會ノ成立ヲ見ル
 ニ至リタルモノト推察セラレタリ而シテ軍部側ハ始メハ本會ニ大
 ナル期待ヲ有シ居タルハ事實ナルモ本會ノ成立ニ直接關與シ居タ
 ルモノニハ非サルモノノ如ク觀察セラレタリ
 本調査會ノ趣旨トスル南支南洋發展云々ニ付テハ本來ナラバ我外

外務省

務省ニ於テ企圖スヘキ筋合ナリト論スヘキ次第ナラムモ本省ニ於
 テハ豫算其ノ他ノ關係ニテ其ノ實現方所期ニ副ハザルノ憾アリ然
 ルニ臺灣ニ於テハ豫算モ比較的餘裕アリ又熱帶產業ニ付テハ長年
 ノ經驗モアリ旁々種々ノ點ニテ好都合ノ條件ヲ有スルカ故ニ小官
 ハ其ノ目的カ平和的經濟的發展ニ存スル以上ハ外務省トシテモ大
 乘的精神ヲ以テ同調査會ノ使命ニ寄與スルモ亦不可ナカルヘシト
 ノ態度ヲ以テ會議ニ臨ムコトトセリ然レトモ南支南洋ノ發展云々
 ノ看板ヲ掲ケ徒ラニ國際關係ヲ刺戟スルハ策ノ得タルモノニ非サ
 ルカ故ニ此點ハ臺灣總督及總務長官竝ニ關係當局ニ篤ト話入レタ
 ル處先方モ充分之ヲ諒承シ新聞情報其ノ他ニ付細心ノ注意ヲ拂フ
 旨ヲ約シタリ尙會議ノ席上ニ於テモ國際關係ニ付慎重考慮スルノ
 要アル旨ヲ力説シ又計畫遂行ニ當リテハ滿支及英領北一ボルネオ
 ヲ先トスベク蘭印及比律賓ノ如キハ問題ノ解決ヲ俟テ事ヲ始ムヘ
 キ旨ヲ戒告シ置ケリ

外務省



右ノ外、南方經濟的發展具體化ノ場合ニ於テハ言フ迄モナク事前ヨリ外務本省及出先領事ト協議協調スルノ必要アルベキ旨ヲ爲念篤々申入レ置キタリ

四 次ニ本會議ニ於ケル眼目ノ審議事項タル有力ナル拓殖機關設置ニ關スル件ニ付テハ第二特別委員會（委員長井坂孝）ニ於テ慎重審議スルコトトナリタル處原案ニハ

南支南洋ニ於ケル邦人企業助成ノ爲自ラ拓殖事業ヲ經營スルト共ニ拓殖金融ヲ兼ネ行ヒ以テ邦人南方發展ノ中樞タルヘキ機關ノ設立付考慮スルノ要アリ

トアリタルカ右ニ依レハ南支南洋ニ於テ自ラ拓殖事業ヲ經營スル機關ヲ設置スルカ如ク解釋セラレ斯克テハ本省當局ノ御意向ニモ反シ且又刻下ノ國際情勢ヨリ見テ面白カラザル結果ヲ招來スルモノト思考セラレタルヲ以テ迂餘曲折ヲ經タルノ後左ノ通り修正セシメリ

10. 10.

外務省

臺灣ニ於テ拓殖事業ノ經營及拓殖ニ關スル金融ヲ行フト共ニ南支南洋ニ於ケル邦人企業助成ノ爲主トシテ拓殖金融ヲ行ヒ以テ邦人南方發展ノ中樞タルヘキ機關ヲ設立スルノ要アリ云々

（註）右ニ謂フ拓殖金融トハ拓殖事業ニ對スル金融ノ意ナリ又至トシテ拓殖金融ヲ行ヒトアルハ金融ヲ受ケタル者事業ニ失敗シタルトキハ一時該機關ニ於テ之ガ事業ヲ代行スルノ要アルヲ以テ例外アルコトヲ認メタルモノナリ

本件ニ付テハ民間側委員中ニ於テ強硬ニ原案ヲ固持シタル者アリタルモ委員長ニ於テ之ヲ制シ全會一致ニテ右修正案ヲ可決スルヲ得タリ

五 臺灣總督府ニ於テ本調査會ヲ組織シ豫定ノ答申案ヲ用意シ其ノ可決ヲ求ムル以上ハ總督府ニ於テ何等カ具體的腹案ヲ有スルハ論ヲ俟タザル所ナルヲ以テ前記第二委員會ニ於テ小官ヨリ劈頭當局ニ對シ右具體的腹案ノ提示ヲ要求シタル處當初ハ言フ左右ニシテ腹

10. 10.

外務省

E-1603

0457

国立公文書館 アジア歴史資料センター

Japan Center for Asian Historical Records

http://www.jacar.go.jp

案ノ提示ヲ爲ササリシモ遂ニ議場ノ情勢上當局モ意ヲ決シテ本會
審議ノ參考トシテ腹案タル臺灣拓殖株式會社設立要綱ヲ發表シタ
リ
右要綱ノ概略ヲ述フレハ該會社ハ(一)法律ヲ以テ之ヲ設立シ(二)資本
金總額三千萬圓其内半額ハ政府ノ物的出資(臺灣官租地)他ノ半
額ハ民間出資トシ最初四分ノ一拂込(三百七十五萬圓)(三)拂込資
本金額ノ十倍迄拓殖債權^券ノ發行權ヲ有シ(四)事業ハ拓殖事業ノ經營
及拓殖資金ノ供給等(五)利益配當年八分保障(六)業務ハ臺灣總督之ヲ
監督スト云フニアリ本案ニ對シテハ議論百出シタルガ小官ハ本省
當局ノ趣旨ヲ体シ
一斯クノ如キ性質ノ會社ハ從來ノ失敗ニ鑑ミ將又國際關係ノ機微
ナルニ顧ミ半官半民ノ會社トセス民營ト爲スヘキモノナルコト
ニ資金其ノ他ノ關係ニテ純粹ノ民營困難ナリトセバ其ノ理事者ニ
ハ事業ニ經驗ヲ有シ手腕人格共ニ信ヲ置クニ足ル人物ヲ起用ス

外務省

10. 10.

ベキコト竝ニ國際情勢ニ通ジ外交問題ニ明ルキ人物ヲ理事者ニ
加フルコト
三事業ニ付テハ國外ニ對シテハ金融事業ノミニ限定スルコト
四同案具体化ノ場合ニハ外務省側ト協議スベキコト等ヲ再三力説
シ置ケリ
尤モ右拓殖會社案ハ現實ノ運轉資金僅カニ三百七十五萬圓ニ過キ
ザルヲ以テ之ニテ臺灣自体ノ拓殖事業又ハ拓殖金融ヲ行ハバ既ニ
其ノ餘力ナク債券發行云々ト言フモ事實ハ會社ノ成績如何ニ係リ
容易ニ資金ヲ蒐集シ得ルモノニ非ザルカ故ニ南支南洋ノ發展云々
ヲ高調スルモ實ハ其ノ力ナク極言スレハ總督府ハ口腹ノ間ニ矛盾
ヲ來シ「デインマ」ニ陷レルモノトモ評シ得ベシ從テ該拓殖會
社設立案ハ其ノ成立迄ニハ相當ノ困難ニ逢着スルモノト豫想セラ
ル
六本調査會ニハ軍部ヨリ荻洲臺灣軍參謀長及酒井海軍大佐委員トシ

外務省

10. 10.

テ出席シタリ然ルニ海軍側委員ハ最後迄一言ヲモ發セザリシモ陸軍側委員ハ問題ノ第二委員會ニ於テ督府ノ不誠意ヲ詰リ今回ノ企圖ニ付大ニ期待スル所アリタルニ實ヲ見レハ名ノミ大ニシテ實ハ三百七十五萬圓ノ出資ニ過キズ然モ之ニテ臺灣ノ拓殖事業ヲ先ツ行フト言フニ至テハ言語同斷ノ沙汰ナリ何ノ爲ニ南支南洋ノ發展ヲ叫ハレタルヤ然ラハ外務省側ニテ憂慮スル國際上ノ惡結果ノミヲ殘スニ過キサルニ非ズヤ云々ト大聲呼シタルハ一般ノ注目ヲ引キタル所ナリキ尙其ノ後同委員ト小官懇談シタル際ニ同委員ハ熱帶産業調査會カ如此ナル以上ハ今後ハ何等期待スルヲ得サルベク實ハ目下臺灣民間側ヨリ一千萬圓位南支事業ノ爲捨石のニ出資セシムル様計畫中ニテ右ハ略々成功スルニ至ルヘシ云々ト私語シタリ

要スルニ今回ノ臺灣總督ノ企圖ハ根本的ニ之ヲ觀レハ躍進日本ノ雰圍氣ニ醸成セラレテ發生シタルモノト言フヲ得ベク從テ目前ニ

於テハ名アツテ實ナシトスルモ將來ニ於テハ必スシモ此ノ儘ニテ平穩ニ推移スルモノトハ言フヲ得ザルベシ仍テ本省ニ於テモ不絕此ノ情勢ニ留意シ本邦ノ平和的南支南洋ノ發展方策ニ關スル調査研究ニ一層力ヲ致シ一步進ンテ本邦ノ進ムヘキ道ヲ善導スルノ必要アリト認メラル就テハ之カ爲南洋局ノ新設、少クトモ南洋課ノ設置ヲ必要トスヘシ尙臺灣ニ今回外事課ヲ新設シ本省側ヨリ課長ヲ任命セシメタル如キハ最モ機宜ニ適シタル措置ニシテ此ノ上更ニ臺灣側其ノ他ノ官吏ヲ南支南洋等ノ特別地域ニ於ケル領事館員ニ特別ニ任用スルノ途ヲ開キ事實上彼等ト一層協調スルノ方法ヲ講ズルモ亦此ノ際好適ノ措置ナルヘシト思考セラレ

追テ今回ノ熱帶産業調査會ハ一應今回限りニテ閉會シタルモ多數委員ヨリ恒久的機關トシテ繼續方希望申出アリ旁々總督府側ニテモ今後必要ニ應シ此ノ種會議ヲ組織スルコトトスヘキ旨言明スル所アリタリ

附屬書

- 一 臺灣總督府熱帶產業調查會規程竝趣意書
- 二 臺灣總督府熱帶產業調查會諮問事項
- 三 熱帶產業計畫要綱
- 四 熱帶產業計畫要綱說明書
- 五 熱帶產業調查會答申
- 六 臺灣拓殖株式會社設立要綱
- 七 熱帶產業調查會委員名簿（追補）
- 八 特別委員會構成
- 九 臺灣總督府熱帶產業調查會議事規則
- 一〇 會議日程

外務省

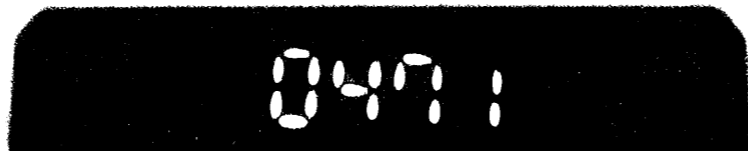
E-1603

臺灣總督府熱帶產業調查會規程並趣意書

附 調 查 方 針

臺 灣 總 督 府

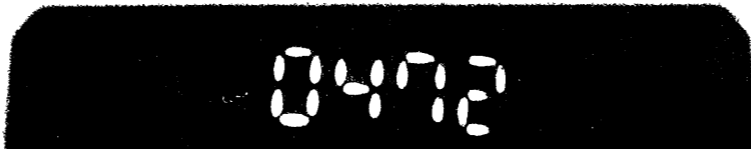
E-1603



熱帯産業調査會規程

昭和十年五月十四日訓令第三十二號
昭和十年九月七日訓令第五十七號改正

E-1603



熱帯産業調査會規程

第一條 臺灣總督府熱帯産業調査會(以下單ニ調査會ト稱ス)ハ臺灣總督ノ監

督ニ屬シ其ノ諮問ニ應ジ本島ト南支南洋間ノ緊密ナル關係ヲ保持シ相互ノ貿易ノ進展ヲ圖ランガ爲必要ナル諸般ノ重要事項ヲ調査審議ス

調査會ハ前項ノ事項ニ關シ臺灣總督ニ意見ヲ提出スルコトヲ得

第二條 調査會ハ會長一人副會長一人及委員五十人以内ヲ以テ之ヲ組織ス

特別ノ事項ヲ調査審議スル爲必要アルトキハ臨時委員ヲ置クコトヲ得

第三條 會長ハ臺灣總督副會長ハ臺灣總督府總務長官ヲ以テ之ニ充ツ

委員及臨時委員ハ關係各廳高等官及學識經驗アル者ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命ジ又ハ囑託ス

第四條 會長ハ會務ヲ總理シ會議ノ結果ヲ臺灣總督ニ具申ス會長事故アルトキハ副會長其ノ職務ヲ代理ス

第五條 會長ハ書面ヲ以テ委員ノ意見ヲ徵スルコトヲ得

第六條 臺灣總督ハ必要ニ應ジ臺灣總督府部内ノ官吏又ハ適當ト認ムル者ヲシテ會議ニ出席セシメ意見ヲ陳述セシムルコトヲ得

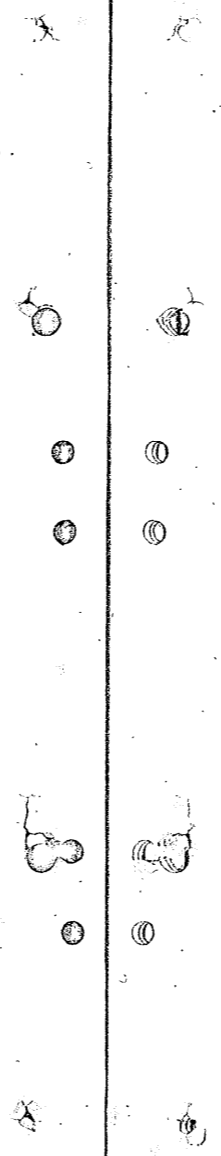
第七條 調査會ニ幹事ヲ置キ關係各廳高等官ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命ジ又ハ囑託ス

幹事ハ會長ノ指揮ヲ承ケ庶務ヲ掌理ス

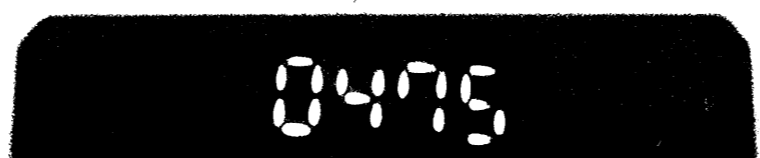
第八條 調査會ニ書記ヲ置キ臺灣總督府部内職員ノ中ヨリ臺灣總督之ヲ命ズ

書記ハ上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

熱帯産業調査會設置趣意書



E-1603



熱帯産業調査會設置趣意書

本島ハ帝國南方ノ要衝ニシテ一衣帶水隣邦中華民國ニ相對シ南方ニハ比律賓ボルネオ佛領印度支那暹羅爪哇スマトラ等ノ友邦植民地ト相接シ有形ニ無形ニ相關涉スル處極メテ多キモノアリ此ノ地理的地位ニ鑑ミ本島産業ノ開發ニ更ニ一段ノ努力ヲ拂フト共ニ之等南支南洋地方ト經濟上一層密接ナル關係ヲ保持シ其ノ貿易ノ進展ヲ圖リ相互慶福ノ増進ヲ期スルハ正ニ本島ノ使命ナリトス

本府ハ茲ニ鑑ミル所アリ曩ニ昭和五年臨時産業調査會ヲ開催シ島内諸産業ニ關シ其ノ嚮フベキ所ヲ明ニスルヲ得タルガ今般更ニ熱帯産業調査會ヲ設置シテ各方面ノ權威者ヲ委員トシ

南支南洋地方トノ貿易其ノ他各般ノ事項ニ付檢討ヲ重ネ島内
ニ於ケル産業交通文化等各方面ノ進展ト相俟ツテ隣保共榮ノ
實ヲ舉ゲ帝國國運ノ隆昌ニ資スル所アラシコトヲ期ス

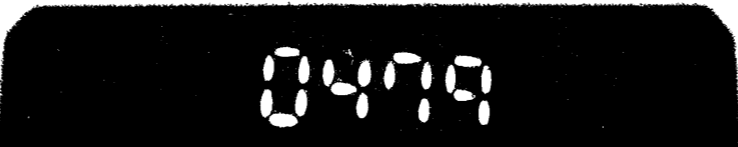
六

調 査 方 針

調査方針

- 一 本調査ニ於テ南支トハ楊子江以南ノ中華民國主トシテ福建廣東廣西ノ三省香港及澳門ヲ南洋トハ比律賓・ボルネオ・蘭領印度・佛領印度支那暹羅英領馬來ヲ指稱ス但シ調査上必要アルトキハ其ノ他ノ地域ニ及ブコトアルベシ
- 二 本調査ニ於テハ努メテ各地ニ於ケル諸般ノ具體的事情ヲ調査研究シ之ト本島トノ關係ヲ明ニシ附隨的ニ内地其ノ他ノ地域トノ關係ニ及ブ
- 三 本調査會ニ關シ曩ニ昭和五年臨時産業調査會ニ於テ決定セル産業計畫要項ハ可成之ヲ利用スルコトトシ必要アル場合ニハ之ガ再檢討ヲ爲スコトトス

- 四 本島産業ノ現状及將來ノ趨勢ニ鑑ミ南支南洋ノ資源ヲ對象トスル工業ノ振興ヲ目的トシテ調査ヲ爲スモノトス
- 五 本島南支南洋間ノ貿易ノ進展ヲ圖リ之等地方ニ對スル輸出促進方法ニ付調査ヲ爲スモノトス
- 六 本島南支南洋間ノ聯絡殊ニ交通運輸通信金融等ニ關スル對策ヲ考究スルモノトス
- 七 南支南洋各地ニ於ケル在留邦人ノ健全ナル發展ヲ遂ゲシムル様之ヲ援助スルト共ニ邦人ノ海外發展ニ付一段ノ考慮ヲ拂ヒ調査ヲ爲スモノトス



臺灣總督府熱帶産業調査會諮問事項

E-1603

0-80

寫

官文第五八〇號

臺灣總督府熱帶産業調査會

南支南洋ニ對スル貿易ノ振興並ニ熱帶産業ノ開發
助成ニ關シ左記各號ニ付有效適切ナル方策ヲ諮フ

昭和十年九月二十三日

臺灣總督 中川健藏 印

E-1603



第一號 貿易ノ振興ニ關スル件

最近本島南支南洋間ノ貿易ハ稍恢復シタルモ尙

振ノ状態ニ在ルヲ以テ之ガ振興方策ニ付意見ヲ求ム

第二號 企業及投資ノ助成ニ關スル件

邦人ノ南支南洋ニ對スル企業及投資ニ關シテハ

一段ノ開發進展ヲ期スルノ要アリト認ムルヲ以

人事案ノ経費

修養之能ヲ示シ

入

テ之ガ助成方策ニ付意見ヲ求ム

第三號 工業ノ振興ニ關スル件

本島ノ地位及産業ノ現況ニ鑑ミ南支南洋ヲ對象

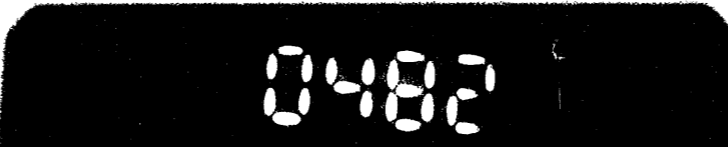
トシテ將來本島ニ於テ興リ得ベキ工業尠カラズ

ト認ムルヲ以テ之ガ振興方策ニ付意見ヲ求ム

第四號 金融ノ改善ニ關スル件

貿易企業及投資ノ進展ハ豊富圓滑ナル金融ニ俟

ツ所極メテ大ナルモノアルヲ以テ之ガ改善方策



ニ付意見ヲ求ム

四

第五號 交通施設ノ改善ニ關スル件

交通通信施設ノ整備ハ産業ノ開發竝ニ貿易ノ進展上缺クベカラザル所ナルヲ以テ之ガ改善方策

ニ付意見ヲ求ム

松本

第六號 文化施設ノ改善ニ關スル件

南支南洋ニ對スル各種文化施設ノ整備ハ相互ノ理解ヲ深メ貿易ノ進展、産業ノ開發上極メテ緊要

入

ナリト認ムルヲ以テ之ガ改善方策ニ付意見ヲ求ム

五



三六
秘

昭和十年十月

(参考書)

熱帯産業計畫要綱

陸海軍部
熱帯地方

臺灣總督府

E-1603



熱帯産業計畫要綱

E-1603

0485

目次

第一號	貿易ノ振興ニ關スル件	一
第一	有望ナル輸出商品ニ關スル事項	二
第二	關稅制度ニ關スル事項	四
第三	商品ノ宣傳紹介竝ニ調査ニ關スル事項	五
第四	仲繼貿易ニ關スル事項	六
第二號	企業及投資ノ助成ニ關スル件	七
第一	有望ナル事業ニ關スル事項	七
第二	中小企業ニ關スル事項	八
第三	移民ニ關スル事項	九
第四	試験研究ニ關スル事項	九
第五	有力ナル拓殖機關ノ設置ニ關スル事項	一〇
第三號	工業ノ振興ニ關スル件	一〇

E-1603

0486

第四號	金融ノ改善ニ關スル件	一四
第二	商業金融ニ關スル事項	一四
第二	拓殖金融ニ關スル事項	一五
第三	中小商工業者ノ金融ニ關スル事項	一五
第五號	交通施設ノ改善ニ關スル件	一六
第一	陸運ニ關スル事項	一六
第二	航路及航空路ニ關スル事項	一七
第三	港灣ニ關スル事項	一八
第四	通信ニ關スル事項	一九
第六號	文化施設ノ改善ニ關スル件	二〇
第一	報道宣傳機關ニ關スル事項	二一
第二	教育施設ニ關スル事項	二二
第三	醫療施設ニ關スル事項	二三
第四	觀光施設其ノ他ニ關スル事項	二四

熱帯産業計畫要綱

第一號 貿易ノ振興ニ關スル件

本島ハ我が國南方發展ノ礎石ニシテ南支南洋ニ對シ地理的經濟的ニ極メテ重要ナル地位ニ在ルヲ以テ彼我貿易ノ消長ガ本邦産業經濟ノ進展ニ及ボス影響蓋シ大ナルモノアルベシ而シテ近時我が國ニ於ケル各種工業ノ異常ナル進歩、日支關係ノ好轉、爲替安等ノ好條件ニ刺戟セラレ多年不振ノ状態ニ在リシ本島ノ南支南洋貿易ハ漸ク伸暢ノ曙光ヲ認ムルニ至リタリト雖モ一面彼地ニ於テハ各種輸入防遏政策ノ強化ニ努メツツアルヲ以テ前途尙樂觀ヲ許サザルモノアリ仍テ本島對南支南洋貿易ノ振興ヲ促進セシムルガ爲左記事項ニ付有效適切ナル方策ヲ講ゼザルベカラズ

中島...



第一 有望ナル輸出商品ニ關スル事項

南支南洋ハ本邦商品ノ一大消費市場トシテ極メテ有望ナルニ拘ラズ
彼地ニ對スル本島生産品ノ進出ハ其ノ種類竝ニ數量ニ於テ尙不振ノ
状態ニ在リ仍テ之ガ好適品ノ生産増加品質ノ改良等ニ努ムルト共ニ
新販路ノ開拓ニ關スル各種施設ノ完備ヲ圖リ以テ本島輸出貿易ノ進
展ヲ期スルノ要アリ

一 砂糖

本邦糖業ノ現状ト南支那ニ於ケル砂糖ノ生産及消費狀況トニ鑑ミ臺
灣糖ノ對支輸出ヲ促進セシムルガ爲一層生産費ノ低減耕地白糖ノ増
産及品質ノ改良輸出ノ統制輸送費ノ輕減等ヲ圖ルヲ要ス

二 包種茶

包種茶ハ本島對南洋貿易上極メテ重要ナル地位ヲ占ムルヲ以テ更ニ
生産費ノ低減取引機關ノ改善輸出ノ統制等ニ付考究スルヲ要ス

三 バナナ

バナナノ對支輸出貿易ハ從來一進一退ノ情勢ニ在リタルモ之ガ一層
ノ進展ヲ圖ランガ爲最近ニ於ケル日支關係ノ好轉ヲ契機トシ販賣統
制ノ強化ニ努メ販路ノ擴張ヲ期スルヲ要ス

四 鳳梨罐詰

本島鳳梨罐詰企業ハ曩ニ其ノ合同ヲ見タルヲ以テ之ヲ轉機トシテ生
産費ノ低減取引ノ改善ヲ圖ルト共ニ輸出補償法ヲ適用シ以テ輸出貿
易ノ増進ヲ期スルヲ要ス

五 豚

豚ハ對支貿易上將來有望ナル輸出品タルヘキヲ以テ之ガ輸出ヲ増進
セシムルガ爲養豚方法ノ改善輸出ノ統制ヲ圖ルヲ要ス

六 石炭

石炭ハ本島ノ南支南洋向輸出品中重要ナル地位ニ在ルヲ以テ之ガ輸

出ノ圓滑ヲ圖ランガ爲品質ノ向上、生産組織及取引ノ改善等ヲ圖ルヲ要ス

四

七 水産物

鮮魚及水産製品ノ南支南洋ニ對スル輸出ハ將來有望ナリト認メラルルヲ以テ企業組織ノ改善輸出ノ統制輸出補償法ノ適用等ヲ圖リ斯業ノ進展ヲ期スルヲ要ス

八 其ノ他ノ貿易品

以上列舉シタル商品ノ外南支南洋ニ對シ相當ノ輸出高ヲ示シツツアルモノ及將來有望ナリト認メラルル貿易品ニ付之ガ輸出ヲ増進セシムル爲適切ナル方策ヲ講ズルヲ要ス

第二 關稅制度ニ關スル事項

南支南洋各地ニ於テ高度ノ關稅障壁、輸入制限營業制限等各種ノ輸入

防遏方法ノ講ゼラレツツアル現状ニ鑑ミ本島ノ南支南洋貿易ノ進展ヲ期スル爲特ニ左ノ點ニ付適切ナル方策ヲ講ズルノ要アリ

一 各種通商障壁ノ除去

本島産輸出品及本邦産仲繼貿易品ニ對スル南支南洋各地ニ於ケル高率關稅特殊課稅、輸入制限、營業制限等ノ緩和撤廢ニ付適切ナル方策ヲ講ズルヲ要ス

二 關稅ノ減免

南支南洋ノ物産中本島ニ於ケル工業ノ原料ニ適スルモノニ對シ必要ニ應ジ關稅ノ減免制度ヲ擴張シ以テ貿易ノ進展ニ資スルヲ要ス

第三 商品ノ宣傳紹介並ニ調査ニ關スル事項

本島ノ南支南洋ニ對スル輸出貿易ノ進展ヲ促サンガ爲商品ノ對外的宣傳紹介、海外市場ノ調査及情報蒐集等ヲ目的トスル施設ヲ創設スル

五

ノ要アリ

一 商品ノ宣傳紹介ニ關スル施設

本島ノ南支南洋向輸出品ニ對スル宣傳紹介ニ付テハ從來施設ノ見ル
ベキモノナク遺憾ノ點尠カラザルヲ以テ速ニ南支南洋主要各地ニ物
産紹介所又ハ貿易通信員ノ設置巡回見本市ノ開設新聞雜誌ヲ才映
畫ノ利用等ニ依リ之ガ實行ニ努ムルヲ要ス

二 調査ニ關スル施設

外國貿易ノ堅實ナル進展ヲ期スル爲ニハ海外事情ノ推移ヲ知悉スル
ノ要アルニ拘ラズ現在南支南洋ニハ之ガ衝ニ當ルベキ施設ナキヲ以
テ彼我貿易上重要ナル産業ニ付各主要都市ニ駐在員ヲ設置シ以テ市
況其ノ他ニ關スル調査及情報蒐集ヲ爲サシムルヲ要ス

第四 仲繼貿易ニ關スル事項

本島ハ仲繼貿易ノ進展上極メテ好適セル地位ニ在リ而シテ其ノ消長
ハ本島輸出貿易ニ至大ノ關係ヲ有スルヲ以テ之ガ發展ヲ促サンガ爲
配船ノ増加運賃ノ輕減等ニ付考究スルノ要アリ

◎ 第二號 企業及投資ノ助成ニ關スル件

南支南洋ニ對シ邦人ノ進展ヲ圖ルハ極メテ緊要ノコトニ屬ス而シテ
臺灣ハ其ノ地理的地位ニ鑑ミ南方發展ニ寄與スベキ重要使命ヲ有ス
ルモノナルヲ以テ本島ヲ根據トシテ發展スルニ適當トナル地方ノ企
業及投資ニ對シテハ特ニ之ガ開發助成ニ努メザルヘカラズ

第一 有望ナル事業ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル企業中護謨馬尼刺麻栽培事業等ノ如ク既ニ邦人ノ

○ 護謨馬尼刺麻栽培事業

社長

關係セルモノノ外邦人ノ經營又ハ投資ノ對象トシテ適當ト認メラル
ルモノ尠カラズ就中南支及暹羅ニ於ケル糖業、綿棉企業、暹羅ニ於ケル
チーク伐木企業、南洋各地ニ於ケルカツチ製造企業、南洋各地特ニ比律
賓ニ於ケル精米業、南支南洋ニ於ケル鐵石油、石炭、金、錫、鉛、亜鉛、水、鉛、雲母
ボーキサイト、安質母、尼タン、グステン等ノ鑛業、新嘉坡及爪哇ヲ根據ト
スル底魚漁業、比律賓、蘭領印度等ニ根據ヲ有スルガツをまぐる漁業及
之ガ加工業等有望ナリト認メラル、併テ之等ノ事業ニ關シテハ適當ナル
機關ニ依リ調査ヲ行フト共ニ之ヲ本島内外ノ資本家ニ紹介シ其ノ
投資ヲ斡旋シ企業ノ成立ニ必要ナル援助ヲ與フルノ外、既存企業ニ付
テモ一層之ガ助成ニ努ムルノ要アリ

第二 中小企業ニ關スル事項

南支南洋ニ對スル邦人中小企業者就中中小商工業者ノ進出ハ緊要且

有望ナリト認メラルルヲ以テ其ノ指導統制ニ意ヲ用フルト共ニ小口
資金ノ融通ニ付利便ヲ與ヘ以テ其ノ發展ヲ圖ルノ要アリ

第三 移民ニ關スル事項

南支南洋ニハ人口稀薄ニシテ未開發ノ地方尙多ク邦人移民ヲ容ルル
ノ餘地尠カラズ特ニ英領北婆羅洲、暹羅、比律賓、英領馬來、蘭
領印度ニ於ケル農業移民、南支南洋ニ於ケル比律賓、英領馬來、蘭領印度ニ於ケル商
業移民、其ノ他南洋ニ於ケル邦人漁業ノ發展ニ伴フ漁民ノ進出有望ナ
リト認メラルルヲ以テ移民ニ適地ノ調査ヲ行ヒ移民計畫ヲ樹立スレト
非ニ移民ノ進出定著上必要ナル援助ヲ與フルノ要アリ

第四 試験研究ニ關スル事項

本島ハ南支南洋ニ近接シ中央研究所其ノ他各種試験研究機關ヲ有ス

ルヲ以テ將來有望ナル事業ニ關シ島内又ハ現地ニ於テ試驗研究ヲ行
ヒ邦人ノ企業ニ必要ナル資料ヲ供給スルノ要アリ

有力ナル拓殖機關ノ設置ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人企業助成ノ爲自之拓殖事業ヲ經營スル

拓殖金融ヲ兼テ邦人南方發展ノ中樞タルヘキ機關ヲ設立スル

付考慮スルノ要アリ

拓殖金融ヲ兼テ邦人南方發展ノ中樞タルヘキ機關ヲ設立スル

付考慮スルノ要アリ

第三號 工業ノ振興ニ關スル件

由來南支南洋ハ工業原料ノ生産地タルト共ニ商品ノ一大消費市場ナ
ルヲ以テ各種工業ニ對シ有利ナル生産條件ヲ具備セル本島ニ彼地ノ
豐富ナル各種原料ヲ輸入シ併セテ島内原料ノ利用ヲ増進シ以テ本島

ノ工業化ヲ圖リ我が國ノ需要ヲ充足シ更ニ販路ヲ南支南洋ノ市場ニ
求ムルノ要アリ仍テ有望ナル新規工業ニ對シテハ速ニ科學的經濟的
研究調査ヲ遂ゲ之ガ勃興ノ機運ヲ醸成スルト共ニ既存工業ニ對シテ
ハ適切ナル助成ノ方法ヲ講ジ以テ本島工業ノ振興ヲ圖ラザルベカラ
ズ

一 無水酒精工業

液體燃料ニ缺乏セル我が國ノ現狀ニ鑑ミ爪哇及比律賓ノ糖蜜ト本島
産糖蜜竝ニ甘蔗ト原料トスル無水酒精工業ヲ勃興セシメ以テ燃料
國策ノ確立ニ資スルヲ要ス

二 纖維工業

本島ニ於テハ黃麻、苧麻、サイザル、鬼萱等ノ各種纖維植物ノ生育良好ナ
ルノミナラズバガスノ生産亦豐富ナルヲ以テ將來之ガ増産ヲ獎勵ス
ルト共ニ之等原料トスル纖維工業ヲ一層盛ナラシメ以テ島内ノ需

要ヲ充足シ更ニ南支南洋ヘノ輸出ヲ圖ルヲ要ス

三、油脂工業

本島ニ於テハ蓖麻子ノ増産ヲ獎勵シツツアルモ更ニ南洋産蓖麻子ノ輸入ニ依リ蓖麻子油工業ノ勃興ヲ促進シコブラノ輸入ニ依リ椰子油工業ヲ興スト共ニ油桐ノ栽培ヲ勸奨シ桐油ノ増産ヲ圖リ桐油工業ノ振興ヲ促シ以テ油脂工業ノ發達ニ資スルヲ要ス

四、香料及藥品工業

我が國ニ於テ使用セラルル天然香料ハ其ノ大部分ヲ輸入ニ俟チツツアルヲ以テ將來本島ニ於テ之ガ原料ノ栽培ヲ獎勵スルト共ニ南支南洋ヨリシトロネラ油其ノ他各種香料原料ヲ輸入シ以テ香料工業ノ勃興ヲ促進スルノ要アリ又本島ニキナ樹其ノ他藥用植物ノ栽培ヲ勸奨シ以テ藥品工業ノ振興ヲ促スヲ要ス

五、漆工業

由來本島ハ氣候風土ノ關係上安南漆栽培ノ好適地ナルヲ以テ將來之ガ栽培ヲ一層獎勵スルト共ニ更ニ南支南洋ヨリ原料漆ヲ輸入シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ漆工業ノ振興ヲ圖ルヲ要ス

六、水産加工工業

南洋漁場ニ於テハマぐろ及かつをノ漁獲豊富ナルヲ以テ本島ニ於テ之ヲ原料トスル罐詰工業ヲ勃興セシムルト共ニまぐろ漁業ノ副産物トシテ獲ラルルふかノ加工ヲ行ヒ以テ之ガ輸出ヲ圖ルヲ要ス

七、獸肉加工工業

本島ハ優良豚ノ生産豊富ナルニ拘ラズ未ダ豚肉加工工業ノ見ルベキモノナキヲ以テ將來本島ニ之ガ振興ヲ促シ以テ島内ノ需要ヲ充足スルト共ニ南支南洋市場ヘノ輸出ヲ圖ルノ要アリ

尙畜牛ノ改良増殖ニ努メ牛肉加工工業ノ勃興ヲ促スヲ要ス

八、皮革工業

本邦皮革工業ハ近時著シキ發達ヲ遂ゲタリト雖モ尙多額ノ原料生皮ノ輸入ヲ見ツツアリ而シテ本島ニハ水牛、黃牛等牛皮ノ生産アルモ未ダ島内ノ需要ヲ充スニ足ラザル現状ニ在リ仍テ將來ふか革製造工業ヲ振興スルト共ニ南支南洋ヨリ生牛皮ノ輸入ヲ促進シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ本邦皮革工業ノ確立ニ資スルヲ要ス

一四

第四號 金融ノ改善ニ關スル件

貿易竝ニ企業及投資ノ進展ハ金融ノ圓滑ニ俟ツ所極メテ大ナルモノアルモ南支南洋ニ於ケル邦人ノ金融ニ付テハ尙遺憾ノ點尠カラズ仍テ左記各事項ニ付改善充實ヲ圖ラザルベカラズ

第一 商業金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人商業資金ノ潤澤圓滑ナル供給ニ資セシメンガ

爲現地ニ於ケル我が金融機關ノ内容ノ充實、營業所ノ増設等努メテ之ガ整備ヲ圖ルト共ニ金利ノ引下、手形期日ノ延長等金融方法ノ改善ニ付考究ヲ要アリ

第二 拓殖金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人拓殖企業ノ近年不振ノ状態ニ在ルハ之ニ對スル適切ナル金融機關ヲ缺キ資金ノ供給充分ナラザリシニ因ル所多キヲ以テ之ガ要求ニ應ズベキ新機關ヲ設立キ付考慮スルノ要アリ

第三 中小商工業者ノ金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人中小商工業者ニシテ備用薄弱ナル者爲銀行ヲ利用シ得ザル者又ハ銀行等ノ設置ナキ地方ニ在留スル者ニ對スル金融ニ關シテハ相互扶助的金融機關ニ依ラシムルヲ便トスルヲ以テ之

一五

一六
ガ設立ヲ德憑シ既設ノモノニ付テハ其ノ改善擴充ニ努メシムルノ要アリ

第五號 交通施設ノ改善ニ關スル件

交通施設ノ整備ハ彼我ノ連絡貿易ノ進展、企業ノ振興上缺クベカラザルモノナルヲ以テ鐵道、道路、航路、航空路、港灣、通信機關等ニ付改善ヲ圖ラザルベカラズ

第一 陸運ニ關スル事項

本島ノ地理的、經濟的事情ニ鑑ミ南支南洋貿易ノ進展上各種交通機關ノ建設改良、運輸ノ改善等ヲ圖ルノ要アリ

一 鐵道ノ建設改良

縱貫鐵道其ノ他ノ複線工事ヲ完成シ尙經濟的、國防的見地ヨリ必要ナル新線ヲ敷設スル等鐵道ノ建設改良ヲ圖ルヲ要ス

二 運輸ノ改善

時勢ノ進運ニ應ジ輸送諸設備ヲ改善シ産業ノ發展ニ重大ナル關係ヲ有スル運賃ノ合理化ヲ圖リ努メテ之ヲ輕減スル方策ヲ講ズルト共ニ國際聯絡運輸ヲ擴張シテ之ヲ南支南洋ニ及ボスヲ要ス

三 道路ノ新設改築

臺灣一周道路、中部橫斷道路及山地開發道路ノ新設改築ヲ促進スルト共ニ臺灣一周道路ノ主要區間ニ於ケル路面ヲ鋪裝スルヲ要ス

第二 航路及航空路ニ關スル事項

本島ノ地理的、經濟的地位ニ鑑ミ貿易ノ進展並ニ國際交通ノ發達ヲ期センガ爲航路及航空諸施設ノ改善擴充ヲ圖ルノ要アリ

一 航路ニ關スル事項

商工業ノ發展竝ニ貿易ノ振興ニ資スル爲南支南洋航路ノ整備ヲ圖リ
内臺航路ノ充實ニ努メ更ニ本島ヲ國際交通路ノ幹線ニ進出セシムル
ト共ニ本島ノ重要物産及有望ナル仲繼貿易品ノ運賃ノ合理化ヲ圖ル
ヲ要ス

二 航空路ニ關スル事項

本島ハ我が國南方ノ要衝ニ位シ南支南洋ニ對シ經濟上密接ナル關係
ニ在ルヲ以テ島内各種航空施設ノ整備島内及内臺定期航空輸送事業
ノ充實竝ニ國際航空路ノ開設ニ努ムルヲ要ス

第三 港灣ニ關スル事項

港灣ノ整備ハ鐵道航路等ノ施設ト相俟ツテ産業貿易ノ進展上缺クヘ
カラザル要件ナルヲ以テ之ガ改善充實ヲ圖ルト共ニ其ノ運用ニ付適

切ナル方策ヲ講ズルノ要アリ

一 港灣ノ改善

本島ノ地理的地位ニ鑑ミ基隆高雄兩港ノ設備ヲ改善シ以テ本島ノ國
際幹線航路ヘノ進出及南支南洋貿易ノ發展ニ資スルヲ要ス

二 南支南洋諸開港ニ於ケル海陸連絡ノ改善

南支南洋各港ニ於ケル我が關係會社ノ海陸連絡設備ハ極メテ不充分
ナル實情ニ在ルヲ以テ棧橋倉庫等適當ナル施設ヲ爲シ貿易ノ進展ニ
資セシムルヲ要ス

第四 通信ニ關スル事項

本島及南支南洋間ノ特殊關係ニ鑑ミ郵便電信電話ニ付施設ノ改善ヲ
促進シ料金ノ低減及取扱ノ簡易化ヲ圖リ以テ産業竝ニ文化ノ進展ニ
寄與スルノ要アリ

一 郵便

本島及香港、澳門、南洋各地間ニ可及的速ニ特惠的約定ノ締結ヲ促進シ以テ料金ノ低減並ニ取扱ノ簡易化ヲ圖ルヲ要ス

二 電信

本島及南支南洋間ノ通信ハ連絡上遺憾ノ點尠カラザルヲ以テ關係各地ニ對シ直通無線回路ヲ開設スルト共ニ對船舶通信ノ改善ヲ圖ルヲ要ス

三 電話

將來本島、南支南洋間ノ通信量増加ニ伴ヒ漸次之ガ施設計畫ヲ考慮スルヲ要ス

第六號 文化施設ノ改善ニ關スル件

南支南洋ニ對スル各種文化施設ハ相互ノ理解ヲ深メ彼我ノ親善ヲ増進シ經濟的提携ヲ容易ナラシムルコト大ナルモノアルニ鑑ミ將來益々之ガ改善擴充ヲ圖ラザルヘカラズ

第一 報道宣傳機關ニ關スル事項

報道宣傳機關ノ整備ハ本邦ノ事情ヲ海外ニ紹介シ相互文化ノ向上延イテハ彼我親善ニ資スル所尠カラズ仍テ新聞、ラヂオ等ニ付次ノ如キ改善擴充ヲ圖ルノ要アリ

一 新聞

財團法人善鄰協會ノ經營ニ屬スル福州閩報及廈門全閩新日報ノ改善ヲ圖リ廣東、汕頭、香港等ノ南支要地ニ於テ新聞ヲ創刊セシムルト共ニ南洋各地ニ於ケル各種報道機關ノ助成ヲ爲シ以テ彼我理解ノ増進ニ資スルヲ要ス

二 ラヂオ

南支南洋向大電力放送設備ヲ完成シ在留邦人ニ對スル報道慰安及教養ノ機關トシテ遺憾ナカラシメ以テ其ノ活躍ニ資セシムルト共ニ更ニ交驩放送及外國語放送ヲ實施シテ彼我ノ親善ニ益シ對外報道並ニ宣傳ニ付萬全ヲ期スルヲ要ス

二三

第二 教育施設ニ關スル事項

本島ニ於ケル實業教育機關ノ改善充實ヲ圖ルト共ニ南支南洋ニ於ケル我が教育施設ノ整備擴充ヲ促進シ以テ邦人ノ南方發展上遺憾ナキヲ期スルヲ要アリ

一 島内實業教育機關ノ内容改善

島内各實業教育機關ノ組織學科課程ヲ改善シ將來南支南洋ニ於テ活躍セントスル者ノ養成上遺憾ナキヲ期スルヲ要ス

二 在留邦人子弟ニ對スル教育施設ノ改善

南支南洋ニ於ケル邦人經營ノ教育施設ノ整備擴充ヲ圖ルト共ニ邦人子弟ノ本島遊學ヲ勸奨シ以テ我が南支南洋發展ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヲ要ス

第三 醫療施設ニ關スル事項

彼我ノ理解ヲ増進シ邦人ノ定住ニ資セシムルガ爲病院ノ擴張増設ヲ圖ルト共ニ醫師療屬ノ養成並ニ熱帶病ノ調査研究ニ關シ次ノ如キ施設ヲ爲スノ要アリ

一 病院ノ擴張増設及援助

南支ノ各博愛會醫院及英領北ボルネオノタワオ病院ヲ擴張充實セシムルト共ニ南支南洋ニ於ケル邦人ノ集團地及將來ノ發展地ヲ選ビ病院ヲ開設セシメ又ハ既設病院ヲ援助スルヲ要ス

二三

二 醫師、產婆、看護婦等ノ養成及援助
 醫師、產婆、看護婦等ノ養成機關ヲ病院ニ附屬セシメ之ガ養成上遺憾ナキヲ期セシムルト共ニ各地邦人醫師ニ對スル援助指導ニ付考慮スルヲ要ス

三 熱帯病ニ關スル調査研究
 南支南洋ニ對スル邦人ノ移住發展ヲ容易ナラシムル爲熱帯地ニ於ケル邦人ノ氣候適應性、勞業能率、生活法、マラリア其ノ他諸疾病ノ豫防治療等ニ付調査研究ヲ爲スヲ要ス

第四 觀光施設其ノ他ニ關スル事項

本島ニ於ケル觀光施設ノ改善充實ヲ圖リ南支南洋ニ於ケル觀光機關ト相提携シ聯絡運輸ノ開設ニ依リ相互ニ觀光客ヲ交換スルト共ニ彼我協調シテ歐米觀光客ノ誘致ニ努メ以テ國際親善ニ資スルノ要アリ

尙學藝ノ交換、運動競技會ノ開催等ハ相互ノ親善ヲ増進スル上ニ於テ有效適切ナル方途タルヘシ

一 觀光組織ノ整備統制

觀光組織ヲ整備シ相互ノ連絡統一ヲ圖リ全臺灣ノ觀光事業ヲ一體ト爲シ有機的ニ活動セシメ以テ外客ノ誘致ニ努ムルヲ要ス

二 觀光宣傳ノ徹底

本島ノ風光、習俗、産業等ノ海外宣傳ヲ徹底セシメ殊ニ南支南洋方面ノ新聞雜誌ヲ利用シ又ハ案内所ヲ設置スル等ノ手段ニ依リ外客ノ誘致ヲ圖ルヲ要ス

三 觀光設備ノ充實

本島ノ名勝地ニ觀光ホテルヲ設置シ自動車道其ノ他ノ交通施設、衛生、保健娛樂設備等ヲ改善充實シ以テ外客ノ誘致ニ資スルヲ要ス

四 接遇ノ洗練向上

外人觀光客ニ對スル關係官署ノ取扱ヲ可及的ニ統一簡易化スルト共ニ案内業者觀光土産品ノ販賣等ニ關スル取締ヲ嚴ニシ接遇ノ洗練向上ニ努ムルヲ要ス

五 國立公園ノ設置

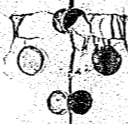
本島ハ大風景地ニ乏シカラザルヲ以テ速ニ國立公園ヲ設置シ自然ノ保護開發ニ努メ以テ海外觀光客ヲ誘致スルヲ要ス

六 學藝ノ交換

本島及南支南洋間ニ於テ各大學專門學校又ハ研究機關ヲシテ相互ニ交換教授學術研究資料ノ交換等ヲ行ハシムルト共ニ彼地學生ノ本島遊學ヲ勸奨シ相互ノ文化的聯繫ヲシテ一層緊密ナラシムルヲ要ス

七 交驩運動競技會ノ開催

國際運動競技特ニ學生生徒ヲ中心トスル交驩競技會ノ開催ニ依リ相互ノ理解ヲ進メ親善ヲ圖ルヲ要ス



昭和十年十月十二日印刷

昭和十年十月十五日發行

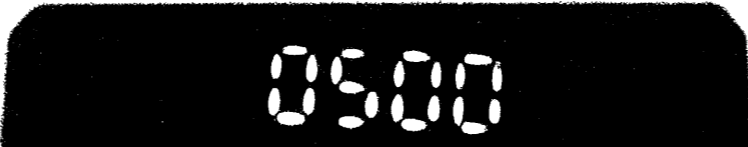
臺灣總督府

臺北市榮町一丁目二十八番地

印刷人 中村誠道

臺北市榮町一丁目二十八番地

印刷所 松浦屋印刷部



四

秘

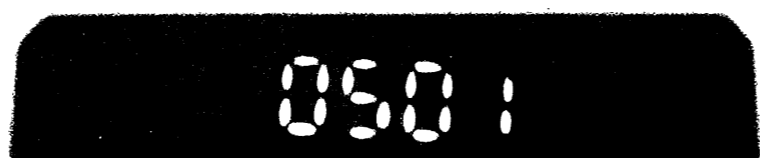
昭和十年十月

(参考書)

熱帯産業計畫要綱説明書

臺灣總督府

E-1603



熱帯産業計畫要綱説明書

E-1603

0502

目次

第一號	貿易ノ振興ニ關スル件	一
第一	有望ナル輸出商品ニ關スル事項	三
第二	關稅制度ニ關スル事項	一〇
第三	商品ノ宣傳紹介並ニ調査ニ關スル事項	二二
第四	仲繼貿易ニ關スル事項	二四
第二號	企業及投資ノ助成ニ關スル件	二七
第一	有望ナル事業ニ關スル事項	二八
第二	中小企業ニ關スル事項	二四
第三	移民ニ關スル事項	二五
第四	試驗研究ニ關スル事項	二七
第五	有力ナル拓殖機關ノ設置ニ關スル事項	二八
第三號	工業ノ振興ニ關スル件	二九

E-1603

0503

第四號	金融ノ改善ニ關スル件	三七
第一	商業金融ニ關スル事項	三七
第二	拓殖金融ニ關スル事項	四〇
第三	中小商工業者ノ金融ニ關スル事項	四〇
第五號	交通施設ノ改善ニ關スル件	四三
第一	陸運ニ關スル事項	四三
第二	航路及航空路ニ關スル事項	四七
第三	港灣ニ關スル事項	五二
第四	通信ニ關スル事項	五五
第六號	文化施設ノ改善ニ關スル件	五七
第一	報道宣傳機關ニ關スル事項	五七
第二	教育施設ニ關スル事項	六〇
第三	醫療施設ニ關スル事項	六二
第四	觀光施設其ノ他ニ關スル事項	六五

第一號 貿易ノ振興ニ關スル件

E-1603



第一號 貿易ノ振興ニ關スル件

本島ニ於ケル昭和九年ノ内外總貿易額ハ五億二千九十五萬圓ニシテ從來ノ最高記録タル昭和四年ノ貿易額ヲ凌駕スルコト四千四百餘萬圓ニ及ビ改隸當初ノ明治三十年ニ於ケル貿易額三千百餘萬圓ニ比スレバ實ニ約十七倍ノ躍進ヲ示セリ而シテ内國貿易ハ四億五千六百餘萬圓ニシテ總額ノ八割八分ニ達シ外國貿易ハ六千四百五十餘萬圓ニシテ一割二分ニ相當ス更ニ外國貿易ノ内容ヲ觀ルニ輸出二千六百五十餘萬圓輸入三千八百餘萬圓内南支南洋貿易額ハ輸出一千三百餘萬圓輸入五百六十餘萬圓計一千八百六十餘萬圓ナリ今南支南洋貿易ニ付昭和五年以降五箇年間ノ比較對照ヲ示セバ次ノ如シ

第一號 貿易ノ振興ニ關スル件

本島對南支南洋貿易額

年次	昭和九年	同 八年	同 七年	同 六年	同 五年
輸出	一三、〇〇八、一七四	七、三〇三、四四二	九、二二四、七三二	二二、〇九九、八四〇	一六、三八一、六四八
輸入	五、六二九、九〇六	七、二七三、〇四七	七、八一八、三二一	七、二五六、六七五	九、八六九、二八九
計	一八、六三八、〇八〇	一四、五七六、四八九	一六、九四三、〇五三	一九、三五六、五二五	二六、二五〇、九三七

而シテ本島ノ南支南洋ニ對スル輸出貿易ハ昭和九年ニ於テ相當ノ回復ヲ見タルガ是我ガ國ニ於ケル各種工業ノ異常ナル進歩ニ依ルコト勿論ナルモ對外爲替ノ下落、銀價ノ昂騰、日支關係ノ好轉等ニ基因スル所亦頗ル大ナルモノアリ仍テ如上ノ貿易ノ好調ヲ保持シ更ニ之ガ躍進ヲ期センガ爲彼地經濟事情ノ調査、輸入防遏政策ノ緩和等ニ付適切ナル方策ヲ講ジ以テ有望商品ノ輸出増進並ニ仲繼貿易ノ發展ヲ圖ラザルヘカラズ

第一 有望ナル輸出商品ニ關スル事項

南支南洋ハ本邦商品ノ一大消費市場トシテ極メテ有望ナルニ拘ラズ、彼地ニ對スル本島生産品ノ進出ハ茶、石炭等ニ、三ノ商品ヲ除キ尙不振ノ状態ニ在リ仍テ之ガ好適品ノ生産増加、品質ノ改良、生産費ノ低減、取引ノ合理化、輸出補償制度ノ擴充等ニ依リ輸出貿易ノ進展ヲ圖ルノ要アリ

一 砂糖

南支南洋各地ハ概ネ砂糖ノ生産地ニシテ各々相當ノ生産額ヲ有スルモ爪哇、比律賓ヲ除キ何レモ其ノ國內需要ヲ充スニ足ラズ就中支那ハ現在東洋ニ於ケル最大ノ輸入國ニシテ輓近砂糖増産ノ氣運動キツツアリト雖モ近キ將來ニ於テ自産自給ノ域ニ達スルコト困難ナルベシ而モ我ガ國糖業ノ現狀ヨリ觀テ將來相當量ノ海外輸出ヲ爲スノ必要アルヲ以テ對支輸出ノ進展ヲ圖ル爲速ニ左記各項ニ付其ノ實現ヲ期

スルヲ要ス

(一) 生産費ノ低減

最近支那市場ニ於テ臺灣糖ガ爪哇糖、香港糖ヲ凌駕シ漸次優位ヲ占メントシツツアルハ價格ノ低廉ト品質ノ優良トニ因ルモノナルモ價格ノ低廉ナルハ主トシテ爲替關係ニ在リ生産費ノ如キ一時漸減ノ傾向ヲ示シタルモ近時米穀對策其ノ他ノ影響ニ因リ再ビ增高ノ虞アルヲ以テ適當ナル方策ヲ講ジ之ガ低下ニ努ムルヲ要ス

(二) 耕地白糖ノ増産及品質ノ改良

從來支那ニ對スル砂糖ノ輸出ハ概ネ精製糖ヲ以テシタリシモ近時耕地白糖ハ其ノ品質著シク改良セラレ而モ精製糖ニ比シ生産費遙ニ低廉ナルヲ以テ將來之ガ増産ヲ圖ルヲ要ス而シテ支那ニ於ケル砂糖ニ對スル嗜好ハ由來所謂足重キモノニ在リシガ近時取扱中ノ品傷ミ貯藏力等ノ關係ヨリ耐久性アルモノヲ要求スルノ傾向アリ

且多年精製糖ヲ愛用セル關係上細粒ノモノ歡迎セララルルヲ以テ之ガ要求ニ適應セシムル様其ノ品質ヲ改良スルヲ要ス

(三) 輸出ノ統制

支那ニ於ケル臺灣糖ノ信用維持ト聲價ノ向上トヲ期スルガ爲現在ノ日本糖業聯合會ニ對スル連絡機關トシテ在支邦人砂糖輸入業者ノ鞏固ナル組合ヲ組織セシメ以テ對支輸出ノ統制ヲ圖ルヲ要ス

(四) 輸送費ノ輕減

運賃ノ高低ハ對支砂糖輸出貿易ノ消長ニ重大ナル影響ヲ及ボスモノナルヲ以テ航路ノ改善ヲ圖リ輸送費ヲ輕減スルト共ニ海外輸出糖ニ付特ニ島内運賃ノ輕減ヲ期スルヲ要ス

二 包種茶

包種茶ハ南洋各地住民ノ嗜好ニ適シ本島ノ南洋貿易品トシテ極メテ重要ナル地位ヲ占ムルモノナルモ蘭領印度ニ於ケル關稅ノ引上、爪哇

産包種茶ノ生産増加等ニ因リ近時之ガ輸出ノ進展抄々シカラズ僅ニ四百萬斤價額二百萬圓ヲ上下スルニ過ギズ仍テ本島産包種茶ノ南洋輸出ヲ促進センガ爲左記事項ニ付之ガ實現ヲ圖ルヲ要ス

(一) 生産費ノ低減

包種茶ノ南洋向輸出ヲ増進セシムル爲一層栽培ノ集約化機械製茶ノ普及獎勵生産組織ノ改善等ヲ圖リ以テ生産費ノ低減ヲ期スルヲ要ス

(二) 取引機關ノ改善

包種茶ノ取引ハ複雑多岐ニ互リ爲ニ中間商人ニ依リ利益ヲ壟斷セラルルコト尠カラザルヲ以テ無益ナル中間取引機關ヲ排除シ取引ノ改善ヲ圖ルヲ要ス

(三) 輸出ノ統制

包種茶輸出ノ健全ナル發達ヲ圖ランガ爲之ガ輸出ノ統制及販路ノ

擴張ヲ期スルヲ要ス

三 バナナ

本島産バナナノ對支輸出ハ排日貨運動ト廣東バナナノ競争トニ因リ抄々シキ進展ヲ見ズ年額七萬三千餘籠ニシテ一進一退ノ情勢ニ在リ仍テ之ガ一層ノ進展ヲ圖ランガ爲最近ニ於ケル日支關係ノ好轉ヲ機トシ臺灣青果株式會社ヲシテ販賣ノ統制及輸送設備ノ改善ニ努メシメ以テ販路ノ擴張ヲ期スルヲ要ス

四 鳳梨罐詰

曩ニ臺灣合同鳳梨株式會社設立セラレ本島鳳梨罐詰企業ノ統制成リタルヲ以テ將來一層經營ノ合理化ニ依ル生産費ノ低減竝ニ品質及價格ノ統一ニ依ル取引ノ改善ヲ圖ルト共ニ輸出補償法ヲ適用シ以テ海外ニ對スル販路ノ擴張ヲ期スルヲ要ス

五 豚

豚ハ本島々民ノ生活ニ重大ナル關係ヲ有シ養豚ハ廣ク農家ニ於テ行ハレ其ノ飼養頭數百八十餘萬頭ニ達シ島内需要ヲ充足シ更ニ生豚ヲ海外ニ輸出スルニ至リ昭和十年ニ於テハ九月末迄ニ既ニ三萬六千五百餘頭價額約百萬圓ノ輸出ヲ見タルモ將來益々販路ノ開拓ヲ圖リ其ノ堅實ナル發展ヲ期スルヲ要ス

(一) 養豚方法ノ改善

本島ノ養豚ハ近年長足ノ進歩ヲ遂ゲタルモ尙改善ノ餘地尠カラズ現在ノ飼育方法ヲ以テシテハ損耗多ク歩留低キ爲單價割高トナリ從テ豚ノ輸出ヲ阻碍スルコト大ナルモノアリ仍テ病疫ノ撲滅品種ノ改良飼養管理ノ改善等ヲ圖ルヲ要ス

(二) 輸出ノ統制

現在生豚ノ輸出ニ付テハ業者間ノ連絡統制ニ缺クル所アルヲ以テ

屢々市場ニ於テ不利ヲ招キツツアリ仍テ検査制度ノ確立組合制度

ノ實施品質ノ統一竝ニ出荷ノ統制ヲ圖ルヲ要ス

六 石炭

石炭ノ島内需要ハ製糖期ト關聯ヲ有スル爲冬期ニ多ク夏期ニ尠キモ最大需要時ヲ標準トシテ操業スルヲ要スルヲ以テ夏期ニ於ケル過剩炭ノ一定數量ノ南支南洋ヘノ輸出ハ島内需給ノ均衡維持上極メテ必要ナルヲ以テ之ガ輸出ノ圓滑ヲ期スルガ爲採炭ノ機械化及選炭ノ合理化ニ依リ生産費ノ低下品質ノ向上ヲ圖ルト共ニ石炭販賣組合等ノ設置ニ依リ取引ノ簡易化ニ努ムルヲ要ス

七 水産物

本島水産物中底曳網雜魚、ふか、鱈其ノ他ふか製品等ハ對支輸出品トシテ又まぐろ、かつを水漬罐詰等ハ對南洋輸出品トシテ何レモ將來極メテ有望視セラルルヲ以テ企業組織ノ改善強化ニ依リ輸出品ノ品質及

價格ノ統一ヲ圖ルト共ニ輸出補償法ノ適用ニ依リ新販路ノ開拓ニ努
メ以テ斯業ノ進展ヲ期スルヲ要ス

八 其ノ他ノ貿易品

セメント、板紙、酒精、酒類、樟腦及其ノ副製品、煙草、柑橘、乾筍、蓮草等ハ南支
南洋ニ對シ相當ノ輸出高ヲ示シツツアリ又ハ將來有望ナル輸出品ト
認メラルルヲ以テ一層生産費ノ低減及品質ノ改善ヲ圖リ意匠、包裝等
ニ留意シ以テ輸出ノ増進ヲ圖ルヲ要ス

第二 關稅制度ニ關スル事項

南支南洋ニ於テ我が重要輸出品ハ何レモ高率關稅ヲ賦課セラレ居ル
ノミナラス特ニ本邦商品ノ排斥ヲ目的トスル輸入制限、營業制限等ノ
取扱ヲ受クルモノアリ斯ル狀態ノ儘推移センカ彼地ニ於ケル本邦商
權ハ致命的打撃ヲ蒙ルヘキヲ以テ速ニ之ガ適切ナル對策ニ付考究ス

ルノ要アリ

一 各種通商障礙ノ除去

(一) 本島產輸出品

本島產輸出品ニ對スル通商障礙ノ現狀ヲ觀ルニ(イ)南支南洋各地ニ
於ケル砂糖、セメント、茶、酒精、酒類、煙草等ニ對スル高率關稅(ロ)南支ニ
於ケル砂糖ニ對スル輸入許可制度及糖類捐、セメントニ對スル輸入
許可制度、統稅及特別附加稅、米及粳ニ對スル專稅、酒精ニ對スル統稅
(ハ)比律賓ニ於ケル平價ニ依ル課稅價格ノ換算(ニ)蘭領印度ニ於ケル
營業制限、セメントニ對スル輸入制限アリ之等ハ總テ本島商品ノ南
支南洋ニ對スル進出ヲ困難ナラシムルコト甚大ナルヲ以テ高率關
稅ノ引下及特殊稅ノ撤廢竝ニ輸入制限ノ緩和ニ付有效適切ナル方
策ヲ講ズルヲ要ス

(二) 本邦產仲繼貿易品

本邦産仲繼輸出品ニ付之ヲ觀ルニ南支那ニ於テハ綿布人絹織物、乾鹹魚、錫、乾貝、昆布、紙類等ニ對シ高率關稅ヲ課シ更ニ燐寸ニ對シテハ別ニ統稅ヲ課シツツアルヲ以テ之ガ引下竝ニ撤廢ニ付適切ナル方策ヲ講ズルヲ要ス

二 關稅ノ減免

南支南洋ノ物産ヲ本島ニ輸入シ其ノ製品ヲ輸出スル場合ニ於テ其ノ原料品ニ對シ必要ニ應ジ之ヲ無稅ト爲シ或ハ全部若ハ一部ノ免稅又ハ戻稅ヲ爲シ得ル方途ヲ講ジ以テ輸出ノ進展ヲ期スルト共ニ輸入ノ増進ニ資シ彼我貿易ノ均衡ヲ圖ルヲ要ス

第三 商品ノ宣傳紹介竝ニ調査ニ關スル事項

本島ノ南支南洋貿易ハ最近漸ク好轉ノ曙光ヲ見ルニ至リタルモ尙遺憾ノ點尠カラザルヲ以テ將來一層之ガ進展ヲ圖ランガ爲商品ノ宣傳

紹介竝ニ海外市場ノ調査及情報蒐集ヲ目的トスル恒久的施設ヲ創設スルノ要アリ

一 商品ノ宣傳紹介ニ關スル施設

本島商品ノ海外宣傳紹介施設ハ僅ニ紐育ニ於ケル樟腦及茶ニ關スルモノ竝ニ大連ニ臺灣物産紹介所ヲ有スルノミニシテ從來南支南洋ニ對シ全然此種施設ヲ缺如セルハ遺憾トスル所ナリ仍テ速ニ南支南洋主要各地ニ物産紹介所又ハ貿易通信員ヲ設置スルト共ニ巡回見本市ヲ開設シ尙新聞雜誌、ラヂオ、映畫等ヲ利用シ以テ本島商品ノ宣傳紹介ニ努ムルヲ要ス

二 調査ニ關スル施設

本島ハ地理的經濟的ニ南支南洋ト密接ナル關係アルニ拘ラズ從來其ノ輸出貿易ノ抄々シキ進展ヲ示サザリシハ彼地ニ於ケル各種輸入防遏政策ニ依ルコト勿論ナリト雖モ一面彼地市場ノ取引狀況竝ニ消費

狀況ニ關スル調査ノ缺如ニ基因セルコト亦大ナリト謂フヘシ仍テ本島輸出商品ノ主要集散地タル上海、福州、廈門、香港、馬尼刺、新嘉坡、スラバヤ等ノ各地ニ重要輸出品ニ關スル調査員ヲ駐在セシメ貿易通信員又ハ物産紹介所ノ設置ト相俟ツテ市況ノ變遷、消費狀況ノ推移、産業及貿易政策ノ動向等ニ付常時詳細ナル調査ヲ爲スト共ニ各種情報ヲ蒐集セシメ以テ當業者間ノ緊密ナル聯繫ニ資シ本島輸出貿易ノ促進ニ努ムルヲ要ス

第四 仲繼貿易ニ關スル事項

本島仲繼貿易ハ主トシテ内地商品ヲ移入シ之ヲ南支南洋ヘ輸出スルモノニシテ近年ニ於ケル之ガ趨勢ヲ觀ルニ昭和元年ノ貿易額一千五百萬圓ヲ最高トシ爾來漸減ノ一途ヲ辿リ昭和八年ニハ三百萬圓ニ低下シタルモ昭和九年ニ至リ彼地ニ於ケル政治的、經濟的情勢ノ變化ニ伴ヒ一躍六百九十萬圓ニ増加シ尙益々進展ノ傾向ヲ示シツツアリ仍テ仲繼貿易ノ進展上必要缺クベカラザル要件ヲ爲ス船便ノ充實、輸送費ノ輕減等ニ努メ一層之ガ堅實ナル發展ヲ期スルノ要アリ

第二號 企業及投資ノ助成ニ關スル件

E-1603

05 13

第二號 企業及投資ノ助成ニ關スル件

南支南洋ニ對スル邦人ノ進出ハ相當見ルヘキモノアルモ其ノ豐富ナル資源ト廣大ナル地域トニ稽ヘ尙遺憾ノ點尠カラズ即チ在留邦人ハ南支ニ約一萬三千人南洋ニ約三萬五千人ヲ算スルニ過ギズ又我が南洋ニ對スル投資額ハ現在二億圓ヲ出デズ之ヲ八十餘億圓ニ上ル歐米投資額ニ比スレバ極メテ微々タルモノニシテ尙進出ノ餘地大ナルモノアリト謂フベシ

殊ニ本島ハ熱帶ニ跨リ之ガ住民ノ南洋ヘノ發展ハ極メテ適切ナルニ拘ラズ本島人數ハ南支ニ約一萬一千人南洋ニ約一千人ヲ算スルニ過ギザルヲ以テ今後大ニ之ガ進出ヲ圖ルハ極メテ緊要ナリト認メラル而シテ本島ハ我が國南方ノ要衝ニ當リ南方發展ニ寄與スベキ重要使命ヲ有スルヲ以テ本島ヲ根據トシテ發展スルヲ適當トスル地方ノ企

業及投資ニ對シテハ特ニ之ガ開發助成ニ努メザルベカラズ

第一 有望ナル事業ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル企業ニシテ護謨、馬尼刺麻栽培事業等ノ如ク既ニ邦人ノ關係ヲ有スルモノノ外將來邦人ノ經營又ハ投資ノ對象トシテ適當ト認メラルルモノ尠カラズ之等ノ事業ニ付テハ適當ナル機關ニ依リ現地ニ付調査ヲ行ヒ之ヲ本島内外ノ資本家ニ紹介シ其ノ投資ヲ幹旋シ企業ノ成立ニ必要ナル援助ヲ與フルノ外更ニ既存ノ企業ニ付テモ一層之ガ援助ニ努ムルノ要アリ

一 既存企業ノ助成

南支南洋ニ於ケル邦人企業ハ護謨、馬尼刺麻、椰子等ノ各種栽培企業、馬來半島ノ鐵、爪哇ノ銅等ノ鑛業、追込網漁業、底魚漁業まぐろかつを漁業、打瀬網漁業等ノ水産業其ノ他林業、商工業等見ルベキモノ尠シトセズ

仍テ之ガ一層ノ進展ヲ圖ル爲邦人企業者ノ合同又ハ組合ノ組織ヲ勸奨シ生産費、營業費ノ低減ニ努メシムルト共ニ金融機關ヲ整備シ以テ圓滑ナル資金ノ供給ニ資スル等之ガ援助ニ努ムルヲ要ス

二 新規企業ノ助成

(一) 南支及暹羅ニ於ケル糖業

南支ニ於テ最近砂糖増産ノ氣運動キツツアルト比律賓獨立後ニ於ケル同地砂糖ノ東洋市場ヘノ進出ヲ豫想セララルモノアルトニ鑑ミ南支ニ對スル糖業投資ニ付慎重考究スルノ要アリ

尙暹羅ハ現在我ガ砂糖ノ市場ニアラズ而モ我ガ投資ヲ歡迎シ居ルヲ以テ之ガ投資ニ付併セテ考究スルヲ要ス

(二) 南支及暹羅ニ於ケル繰棉企業

南支及暹羅ニ於ケル棉花ハ改良増産ノ餘地尙大ナリ即チ南支ニ於テハ植付面積一千數百萬畝、産額四百萬擔ニ近ク將來品質ヲ改善シ

植付面積及産額ヲ増加シ得ル見込充分ナリ又暹羅ニ關スル最近ノ調査ニ依レバ將來米棉ニ代用シ得ル棉花百萬俵ヲ生産シ得ル見込アリ而シテ現在本邦ハ年々巨額ノ棉花ヲ米國印度等ヨリ輸入シツツアルモ之ヲ支那及暹羅ヨリ輸入スルコトヲ得バ本邦棉業ハ爲ニ一段ノ發展ヲ見ルニ至ルベシ仍テ南支及暹羅ニ於ケル棉花栽培ニ付調査ヲ爲シ繰棉工場ノ進出ヲ斡旋スルヲ要ス

(三) 暹羅ニ於ケルチーク伐木企業

暹羅ハ古來森林國トシテ知ラレ殊ニチークノ世界的生産地ニシテ年約七萬四千立方メートルノチークヲ海外ニ輸出ス而シテ本邦ニ於テハ艦船竝ニ車輛用材トシテ年約五千五百立方メートル價額八十餘萬圓ノチークノ輸入ヲ見ツツアルガ其ノ大部分ハ暹羅ヨリノ輸入ニ俟ツノ現状ニ在リ仍テ暹羅ニ於ケルチーク其ノ他伐木企業ニ對スル邦人ノ進出ハ經濟上竝ニ國策上有意義ナルモノト認メラルルヲ以テ伐

木權ノ取得其ノ他ニ付之ガ援助ヲ爲スヲ要ス

(四) カッチ製造企業

本邦ニ於ケル單寧材料ノ需要ハ近年皮革工業ノ發達ニ伴ヒ著シク増加シ來リ年四千餘萬斤價額約五百萬圓ノ輸入ヲ見ツツアリ然ルニボルネオ、暹羅ヲ始メ南洋ニハ到ル處マングローブ樹豐富ニシテ本樹皮ヲ原料トスルカッチノ製造ハ相當重要ナル産業ヲ爲シ其ノ總輸出量ハ年約一萬噸ニ達ス而モマングローブ皮ヨリカッチヲ製造スル操作ハ極メテ簡單ナルヲ以テ現在同地方ニ於テ伐木又ハ栽培業ニ従事スル邦人ノ兼業トシテ容易ニ之ガ製造ニ著手シ得ルモノト思料セラル仍テ之ガ企業ニ關シ充分ナル調査研究ヲ遂ゲ邦人ノ製造業ヲ指導獎勵シ本邦ニ於ケル單寧材料ノ圓滑ナル供給ニ資スルヲ要ス

(五) 精米業

南洋特ニ比律賓ノ米作ハ近時著シキ發達ヲ爲シ昭和七年ノ玄米生産高ハ二百餘萬噸ニ達ス然ルニ彼地ニ於ケル精米業ハ支那人ニ依リテ經營セラルルモノ多キヲ以テ將來本島ノ進歩セル方法ト技術トニ依リ日比合辨ノ精米工業ヲ企圖スルハ有望ナリト認メラル仍テ之ガ成立ニ對シ援助スルヲ要ス

(六) 鑛業

現在南支南洋ニ於テ邦人ニ依リ開發セラレツツアル鑛業トシテハ馬來半島ニ於ケル石原産業公司ノスリメダンノ鐵ケママンノ鐵滿俺及日本鑛業株式會社ノヅンダンノ鐵、爪哇ニ於ケル石原鑛山株式會社ノソロノ銅等ニ過ギズ然レドモ南支南洋ハ其ノ地質構造上及從來ノ局部的調査ヨリ考察スルニ鑛物資源豐富ニシテ殊ニ鐵、石油、石炭、金、錫、鉛、亞鉛、水鉛、雲母、安質母、尼、ポーキサイト、タングステン等ノ

鑛業ハ邦人企業トシテ特ニ有望ナリト認メラル仍テ將來之等鑛物資源ニ對シテハ調査研究ヲ行ヒ好機ニ善處スルノ方途ヲ講ズルト共ニ邦人企業者ニ對シ援助スルヲ要ス

(七) 水産業

(イ) 新嘉坡ヲ根據トスルトロール漁業及爪哇ヲ根據トスル機船底曳網漁業

總督府ノ行ヒタル暹羅灣及爪哇海ニ於ケル全般的水族分布調査ニ依レバ新嘉坡ヲ根據トシ暹羅灣、マラツカ海、ビルマ海及濠洲北西海ヲ操業區域トスルトロール漁業竝ニバタビア又ハスラバヤヲ根據トシ爪哇海ヲ操業區域トスル機船底曳網漁業ハ有望ナリト認メラル仍テ操業區域ニ於ケル漁場ノ細密調査、下級魚ノ處理方法及其ノ需給狀況其ノ他ノ調査ヲ行ヒ以テ企業家ノ進出ヲ勸奨スルヲ要ス

(ロ) 比律賓、蘭領印度等ニ根據ヲ有スルカツを、まぐる漁業及之ガ加

工業

表南洋東部及爪哇南方ノ漁場ハ内地漁場ニ比シ約五、六倍ノ漁獲率ヲ示シかつを、まぐる漁業ノ操業區域トシテ最モ樞要ノ地位ニ在リ加フルニ之ガ製品タルかつを、まぐる罐詰ハ現在本邦ニ於テ約三十萬函、米國加州ニ於テ約二百萬函ノ生産アルノ外他ニ見ルベキ産地ナク而モ其ノ需要ハ年々増加ノ傾向ニ在ルヲ以テ本漁業ノ將來ハ極メテ有望ナリト認メラル仍テ活餌料ノ調査、根據地ノ選定、其ノ他起業ニ對シ適當ナル助成ノ方法ヲ講ズルヲ要ス

第二 中小企業ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人中小企業者就中中小商工業者ハ其ノ忍耐力ト機敏ナル活動竝ニ優秀ナル技術等ニ依リ相當ノ發展ヲ爲シツツアリ將來亦有望ナリト認メラル然レドモ之等同業者間ニ組織及統制ノ見

ルベキモノナキト同時ニ之ガ指導機關ヲ缺クノ外小口金融ニ付テモ亦甚シキ不便ヲ感ジツツアリ仍テ之等中小企業者ヲシテ統制アル活動ヲ爲サシムルト共ニ指導機關ヲ現地ニ設置シ且小口金融ノ改善ニ付考慮ヲ加フルノ要アリ

第三 移民ニ關スル事項

一 農業移民

英領北ボルネオ、サラワク、暹羅ハ人口ノ密度疎ニシテ農業的開發ノ餘地多ク而モ入國竝ニ土地取得ニ付嚴重ナル制限ヲ設ケズ外國人ニ依ル開發ヲ歡迎シ居ルヲ以テ相當多數移民ノ可能性アリ英領馬來、蘭領印度竝ニ比律賓ニ於テハ現在入國數ノ制限或ハ土地取得上不便アルモ移民ノ入植必ズシモ不可能ナラズ加之等ノ南洋諸地方ニ於テハ移民ノ栽培作物トシテ米、護謨、椰子、蔬菜、甘蔗、纖維作物、玉蜀黍、茶、珈琲、苧

麻芳香油植物、果樹等適當ナルモノ多キヲ以テ邦人就中勤勉ニシテ熱帶農業經營ニ習熟セル本島農民ヲ自作移民トシテ送致セバ充分成功ノ見込アリ仍テ同地方ニ於ケル移住適地ニ關シ詳細ナル調査ヲ遂ゲ具體的移住計畫ヲ樹立スルヲ要ス

尙現住邦人移民ニ對スル助成施設不十分ナルヲ以テ補助金ヲ交付シ農事試驗施設ヲ獎勵助成スルト共ニ本島ヨリ隨時農事ニ關スル專門技術員ヲ派遣スル等ノ方法ニ依リ其ノ農業技術上竝ニ經營上ノ指導ヲ爲スヲ要ス

二 商業移民

廈門、福州等ハ特ニ本島人商業者ノ進出ニ適シ蘭領印度ニ於テハ營業制限令、外國人從業員入國制限令等ノ實施セラレタル關係上商業從業員ノ入國、大規模營業ノ開始ハ困難ナルベキモ地方村落ニ於ケル雜貨商等ノ經營ハ必ズシモ不可能ニアラズ又暹羅、比律賓及英領馬來ニ於

テハ都會地、地方村落共ニ邦人進出ノ餘地尙尠カラズ仍テ小口低利金融機關ノ整備、直航船ノ増配、商品取引ノ簡易化等ノ施設ヲ行フト共ニ南支南洋ニ於テ商業移民トシテ活動スベキ青年ノ養成ニ努メ或ハ彼地ニ於ケル商業從業員ノ獨立ヲ圖ラシメ以テ邦人ノ進出ニ資スルヲ要ス

三 漁業移民

南支南洋ニハトロール漁業、機船底曳網漁業、かつをまぐろ漁業等有望ナル漁業尠カラザルヲ以テ之ガ振興ニ伴ヒ當然漁民ノ進出ヲ見ルニ至ルベク將來之ガ定著ニ付考慮スルヲ要ス

第四 試驗研究ニ關スル事項

南支南洋ニ對スル邦人企業ノ堅實ナル發達ハ土地、氣候其ノ他各種生産條件及生産物ニ關スル科學的試驗研究ニ俟ツ所大ナルモノアリ而

シテ本島ハ南支南洋ニ近接シ中央研究所糖業試験所水産試験場等熱帶産業ニ關スル試験研究ヲ目的トスル機關ヲ有スルヲ以テ之等機關ノ活用ニ依リ島内又ハ現地ニ於テ各種事業ニ付諸般ノ調査研究ヲ爲シ邦人ノ企業ニ必要ナル資料ヲ提供スルノ要アリ

第五 有力ナル拓殖機關ノ設置ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人企業ヲ助成スル爲有力ナル拓殖機關ヲ設立シ自ラ拓殖事業ヲ經營スルト共ニ拓殖金融ヲ兼ネ行ハシメ以テ新規企業ノ成立ヲ援助シ既存企業ニ對シ事業ノ擴張改善企業ノ合同等經營合理化ノ機會ヲ與フルト共ニ金融ノ圓滑ヲ圖リ以テ邦人ノ發展ニ資スルノ要アリ

第三號 工業ノ振興ニ關スル件

第三號 工業ノ振興ニ關スル件

由來南支南洋ハ天與ノ資源ニ惠マレ各種工業原料ノ生産豊富ナルニ
拘ラズ工業資金ノ逼塞、動力資源殊ニ電氣動力ノ缺乏、熟練工ノ不足等
各種生産要素ニ缺クル所アルヲ以テ彼地ノ工業ハ一、二特殊ナルモノ
ヲ除キ其ノ發達遲々トシテ進マズ其ノ生産形態概ネ小規模ニシテ家
内工業的ノモノ多シ而シテ本島ハ最近日月潭水力電氣工事ノ完成ヲ
見ルニ至リタルノミナラズ將來尙豊富低廉ナル電源開發ノ餘地アリ
加フルニ石炭、天然瓦斯等ノ燃料亦尠カラズ且低廉ナル勞力ヲ得ルコ
ト容易ニシテ而モ内地資本ノ誘致亦敢テ困難ニアラザルヲ以テ今後
彼地ノ各種工業原料ヲ本島ニ輸入シ以テ新規工業ノ勃興ヲ促進スル
ト共ニ島内原料ニ依ル各種工業ノ興隆ヲ圖リ我が國ノ需要ヲ充足シ
更ニ販路ヲ南支南洋ノ市場ニ求ムルノ要アリ仍テ有望ナル新規工業

ニ對シテハ速ニ科學的經濟的研究調査ヲ遂ゲ適宜助成金ノ交付機械又ハ器具ノ貸與調査員ノ派遣等保護助成ノ方法ヲ講ズルト共ニ既存工業ニ對シテハ之ガ助長獎勵ニ努メ以テ本島工業ノ振興ヲ圖ラザルヘカラズ

一 無水酒精工業

液體燃料ニ缺乏セル我が國ノ現狀ニ鑑ミ之ガ代用燃料トシテ糖蜜及甘蔗ヨリ無水酒精ヲ製造シ以テ燃料國策ノ確立ニ資スルハ我が國刻下ノ急務ナリ而シテ本島ニ於ケル糖蜜ハ年産額約二億五千萬斤ニ上ルト雖モ酒類及工業諸原料トシテ使用セラレ其ノ供給ハ需要ヲ充スニ足ラズ然ルニ爪哇及比律賓ニ於テハ糖蜜ノ年産額約十億四千萬斤ニ達スルヲ以テ將來之等資源ノ確保ニ努ムルト共ニ之ガ輸入ノ増進ヲ圖リ以テ無水酒精工業ノ勃興ヲ促進スルヲ要ス

二 纖維工業

本島ニ於ケル纖維植物ハ其ノ生育頗ル良好ニシテ昭和九年ニ於テハ黃麻約一千六百萬斤苧麻約百六十五萬斤サイザル約六十三萬斤ノ生産アリ尙バガスノ生産約十六億二千萬斤ニ達シ鬼萱亦本島ノ山地ニ帶ニ叢生ス仍テ將來之ガ増産ヲ獎勵スルト共ニ之等ヲ原料トスル纖維工業ヲ一層盛ナラシメ以テ島内需要ノ充足竝ニ原料及製品ノ輸入防遏ニ努ムルト共ニ更ニ南支南洋ヘノ輸出ヲ圖ルヲ要ス

三 油脂工業

(一) 蓖麻子油工業

本邦ニ於ケル原料蓖麻子ノ需要ハ年額約三千万斤價額二百餘萬圓ヲ超ユルニ拘ラズ之ガ國內ニ於ケル供給ハ僅ニ本島ニ産スル百餘萬斤ニ過ギズシテ他ハ悉ク滿洲國及南洋ヨリ之ヲ仰グノ状態ニ在リ仍テ將來一層本島ニ蓖麻ノ栽培ヲ獎勵スルト共ニ南洋ヨリ原料蓖麻子ノ輸入ヲ爲シ蓖麻子油工業ノ勃興ヲ促進スルヲ要ス

(二) 椰子油工業

本邦ハ年々南洋ヨリコブラ約一千五百萬斤、價額百餘萬圓、椰子油約百八十萬斤、價額三十餘萬圓ノ輸入ヲ爲シツツアリ而シテ我が國ニ於ケル石鹼工業ノ進歩發達ニ伴ヒ本油ノ需要ハ益々増加ノ傾向ニ在ルヲ以テ本島ニコブラノ輸入ヲ盛ニシ以テ椰子油工業ヲ振興スルヲ要ス

(三) 桐油工業

由來支那ハ世界ニ於ケル桐油ノ有數ナル產地ニシテ年々内地ハ約百四十萬斤、價額四十餘萬圓、本島ハ約十萬斤、價額二萬餘圓ノ輸入ヲ爲シツツアリ而シテ本島ハ油桐栽培ニ好適ノ地ナルヲ以テ今後益々之ガ植林ヲ獎勵シ以テ桐油工業ノ振興ヲ圖リ塗料工業リノリウム工業等ニ寄與セシムルヲ要ス

四 香料及藥品工業

(一) 香料工業

本邦ニ於ケル天然香料ノ需要ハ年額二百餘萬圓ニ上リ其ノ大部分ヲ輸入ニ俟ツノ状態ニ在リ而シテ南支南洋ハシトロネヲ始メ各種香料原料ノ生産地ニシテ我が國亦年々約百噸ノ輸入ヲ爲シツツアリ
本島ハ黃枝、茉莉、秀英、樹蘭、玉蘭、シトロネ等ノ香料植物ノ生育良好ナルヲ以テ本島ニ之等香料原料ノ生産ヲ増加セシムルト共ニ樟腦生産ニ伴フ副生香料ノ利用ヲ圖リ更ニ將來南支南洋ヨリシトロネヲ油其ノ他各種原料ヲ輸入シ以テ香料工業ノ勃興ヲ促進スルヲ要ス

(二) 藥品工業

本邦ハ爪哇ヲ始メ海外諸地方ヨリ年々キナ皮約四十萬斤、價額四十餘萬圓、キニーネ約十六萬斤、價額五十餘萬圓ノ輸入ヲ爲シツツアリ

而シテ本島ハ氣候、地味等ノ關係上キナ樹ノ生育良好ナルヲ以テ今後之ガ栽培ヲ一層獎勵シキナ皮ノ増産ヲ圖リ以テキニ一ネ製造工業ノ振興ヲ促進シ我ガ國ニ於ケル需要ヲ充足スルノ要アリ
尙大楓子、デリス其ノ他藥用植物ノ栽培ヲ勸奨シ以テ藥品工業ノ振興ニ資スルヲ要ス

五 漆工業

最近ニ於ケル我ガ國ノ漆需要額ハ約百八十萬疋價額約三百六十萬圓ニ達スルモ國內ニ於ケル漆ノ産額ハ僅ニ二十七萬疋ニ過ギズシテ之ガ需要ノ大部分ハ南支南洋ヨリノ輸入ニ仰グノ現状ニ在リ而シテ安南漆栽培ノ實績ニ徴シ本島ハ氣候、風土等ノ關係ニ於テ漆栽培ニ好適ノ地ナルヲ以テ今後益々之ガ栽培ヲ獎勵スルト共ニ原料漆ヲ南支南洋ヨリ輸入シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ漆工業ヲ勃興セシメ我ガ國ニ於ケル需要ヲ充足スルヲ要ス

六 水産加工工業

南洋漁場ハ其ノ面積廣大ニシテ殊ニ所謂浮魚漁場ハ延長實ニ八千餘哩ニ及ビまぐる、かつを、かじき、ふか等ノ漁獲豐富ナルヲ以テ將來本島ニ於テ之等ヲ原料トスル罐詰工業ノ振興ヲ促シ以テ之ガ輸出ヲ圖ルヲ要アリ

尙ふかノ漁獲ハまぐる漁業ニ伴ヒ近年著シク増加ノ傾向ニ在ルヲ以テ鞣革、肝油、魚丸其ノ他ふか加工工業ノ發達ヲ期スルヲ要ス

七 獸肉加工工業

本島ニ於ケル養豚事業ハ近年著シク進歩シ昭和九年末現在ニ於ケル飼養總數百八十萬頭ニ達スルニ拘ラズ未ダ豚肉加工工業ノ見ルベキモノナキヲ以テ將來本島ニハム、ベーコン等ノ豚肉加工工業ノ勃興ヲ促シ以テ島内ノ需要ヲ充足スルト共ニ更ニ南支南洋其ノ他海外市場ヘノ輸出ヲ圖リ本島貿易ノ振興ニ寄與セシムルヲ要ス

尙山地ノ開發ニ件ヒ畜牛ノ改良増殖ニ努メ優良ナル肉牛ヲ供給スル
ト共ニ牛肉加工工業ノ勃興ヲ促スハ亦極メテ緊要ナリトス

八 皮革工業

本邦ニ於ケル皮革工業ハ近時著シキ發達ヲ遂ゲタルモ尙原料生皮三
千三百餘萬斤、價額一千二百餘萬圓ノ輸入ヲ見ツツアリ而シテ本島ハ
水牛、黄牛等牛皮ノ生産アリト雖モ其ノ額約二十萬圓ニ過ギズシテ未
ダ島内ノ需要ヲ充スニ足ラズ仍テ將來畜牛ノ改良増殖ニ努ムルト共
ニ南洋ニ於ケルまぐる漁業ノ發達ニ件ヒ副産物トシテ獲ラルルルカ
ヲ原料トスルムカ革製造工業ヲ振興シ更ニ南支南洋ヨリ生牛皮ノ輸
入ヲ促進シ之ガ加工精製ヲ行ヒ以テ本邦皮革工業ノ確立ニ資スルヲ
要ス

第四號 金融ノ改善ニ關スル件

第四號 金融ノ改善ニ關スル件

南支南洋ニ於ケル我が商業金融ハ未ダ極メテ不充分ニシテ在留貿易
商ノ資金調達ニ不便尠カラザルノミナラズ在留中小邦商ヲシテ資金
難ヨリ往々窮境ニ陥ラシムル現狀ニ在リ又邦人拓殖資金ノ供給ニ付
テハ既設金融機關ノ活動頗ル消極的ニシテ邦人企業ノ振興上遺憾ノ
點尠カラズ斯ル現狀ヲ以テシテハ之ガ二層ノ發展ヲ期シ得ザルハ固
ヨリ漸ク築キ上ゲタル邦人ノ經濟的地盤ヲモ崩壞セシムルノ虞アリ
仍テ商業金融、拓殖金融、中小商工業者ノ金融等ニ付左記諸方策ヲ講ゼ
ザルベカラズ

第一 商業金融ニ關スル事項

南支南洋ニ對スル貿易ノ進展及在留邦商ノ發展ハ商業資金ノ潤澤ナ

第四號 金融ノ改善ニ關スル件

ル供給ニ貢フ所極メテ大ナルモノアリ仍テ現地ニ於ケル商業金融機關ヲ整備充實シ金融方法ノ改善ヲ圖ルノ要アリ

一 南支南洋ニ對スル金融機關ノ整備改善

南支南洋ニハ各地ニ本邦銀行散在スルモ我が商勢力ノ維持發展上其ノ施設未ダ完カラズ殊ニ南洋ニ於テハ大戰後ノ不況ニ因リ營業所閉鎖ノ已ムナキニ至レルモノ多ク現在本邦銀行トシテハ新嘉坡、スラバヤニ各三支店、スマランニ二支店、一出張所、バタビアニ二支店、馬尼刺ニ一支店ヲ存スルモスマトラ、ボルネオ、セレベス、暹羅及佛領印度支那ニハ一ノ營業所スラ存セザルノ状態ナリ斯ノ如キハ在留邦人ノ要望ニ副ハザルノミナラズ最近ニ於ケル本邦品ノ進出顯著ナルモノアルニ鑑ミ甚ダ遺憾トスル所ナルヲ以テ之ガ復活又ハ新設ニ付考慮スルヲ要ス

本島金融機關ニシテ現在南支南洋ニ營業所ヲ有スルモノトシテハ臺

灣銀行及華南銀行ノ二行アリ臺灣銀行ハ本島ニ於ケル中央銀行タルト共ニ南支南洋ニ對スル商業金融機關トシテ又華南銀行ハ南支南洋ニ於ケル邦人及華僑ノ金融機關トシテ設立セラレ爾來之ガ目的ノ達成ニ努メタルモ戰後ノ不況其ノ他内外ノ情勢ニ因リ當初ノ使命ニ副ハザルモノアルニ至レリ仍テ今後南支南洋ニ對スル金融機關トシテ一層其ノ機能ヲ發揮セシムルヲ要ス

二 取引方法ノ改善

貿易ノ進展ハ低利ナル資金ノ圓滑ナル供給ニ俟ツ所極メテ大ナルモノアルニ拘ラズ南支南洋ニ於ケル邦商ニ對スル融資ハ比較的短期高利ナルヲ以テ金利ノ低下、手形期日ノ延長等取引方法ノ改善ニ努メシムルヲ要ス

第二 拓殖金融ニ關スル事項

南支南洋ニ於ケル邦人拓殖企業ノ近年兎角不振ノ状態ニ在ルハ經濟界ノ不況排日等ノ影響ニ因ルハ勿論ナルモ他面之ヲ援助スベキ適切ナル金融機關ヲ缺如セルニ基因スル所大ナルモノアリ南支南洋ニ於ケル本邦銀行トシテハ橫濱正金銀行臺灣銀行三井銀行等有力銀行アルモ何レモ主トシテ貿易金融ヲ目的トシ拓殖金融ニ當ルモノトシテハ華南銀行及東洋拓殖株式會社存スルモ當方面ノ金融ニ對スル活動充分ナリト謂フヲ得ズ仍テ南支南洋ニ於ケル邦人ノ拓殖企業ヲ助成スル爲長期且低利ナル資金ノ供給ヲ目的トシ本島ニ根據ヲ有スル特殊金融機關ノ新設ニ付考慮スルノ要アリ

第三 中小商工業者ノ金融ニ關スル事項

南支南洋ニハ邦人中小商工業者多數在留シ之ガ勢力ノ消長ハ邦人ノ經濟的發展ニ至大ノ關係ヲ有ス而シテ之等邦人ノ金融狀況ヲ觀ルニ資力概ネ薄弱ニシテ銀行ヲ利用シ得ザルモノ多ク又地方ニ依リテハ金融機關ヲ缺如セルガ爲不便ヲ感ジ居ルモノ尠カラズ之等金融上ノ缺陷ハ彼等ヲシテ勢ヒ地方金貸業者ヨリ高利ナル資金ノ融通ヲ受クルノ已ムナキニ至ラシメ其ノ事業ニ及ボセル影響大ナルモノアリ仍テ右缺陷ヲ除去シ中小商工業者ノ發展ヲ圖ランガ爲ニハ信用組合ノ如キ相互扶助的金融機關ノ設立ヲ德憑シ既設ノモノニ付テハ其ノ改善擴充ニ努メシムルノ要アリ

第五號 交通施設ノ改善ニ關スル件

E-1603

0529

第五號 交通施設ノ改善ニ關スル件

本島ヲ中心トスル南支南洋交通施設ノ現状ハ彼我ノ連絡貿易ノ進展
竝ニ企業ノ振興上尙不充分ナルモノアルヲ以テ島内鐵道ノ建設改良
運輸ノ改善、道路ノ新設改築、南支南洋航路及内外航空路ノ充實、基隆及
高雄兩港施設ノ擴充、南支南洋諸開港ニ於ケル我ガ港灣施設ノ充實、通
信機關ノ整備等ニ付考慮セザルヘカラズ

第一 陸運ニ關スル事項

島内産業ノ發達ヲ期シ以テ南支南洋ニ對スル貿易ノ進展ニ資センガ
爲鐵道及道路網ノ完成ヲ促進シ輸送ノ改善、運賃ノ輕減、國際聯絡運輸
ノ擴張等運輸諸施設ノ全般ニ互リ改善ヲ圖ルノ要アリ

一 鐵道ノ建設改良

第五號 交通施設ノ改善ニ關スル件

(一) 鐵道ノ建設

本島ノ南支南洋ニ對スル地位ニ鑑ミ其ノ産業ノ進展上竝ニ軍事上ノ見地ヨリ必要ナル鐵道網ノ建設ニ付考究シ之ガ達成ヲ期スルヲ要ス

(二) 鐵道ノ改良

近年本島産業界ノ發展ニ件ヒ縱貫鐵道複線計畫ノ實現其ノ他部分的改良工事ノ實施等順次鐵道諸施設ノ改善整備ヲ圖リツツアルモ最近ニ於ケル貨客激增ノ趨勢竝ニ將來ノ需要ニ應ズル爲停車場ノ改築、旅客貨物停車場ノ分離、操車場ノ新設、軌條ノ負擔力増加、勾配曲線ノ緩和等ノ改良工事ヲ實施シ以テ鐵道本來ノ機能タル大量輸送ノ迅速快適ヲ期スルヲ要ス

二 運輸ノ改善

(一) 輸送ノ改善

輸送ノ安全迅速ヲ圖ル爲普通貨車ヲ增備シ冷藏車、家畜車、通風車、石炭車等ノ特種貨車ヲ充實スルト共ニ大量特種貨物ニ對スル專用列車ノ運轉ヲ爲スヲ要ス

(二) 運賃ノ輕減

本島、南支南洋間輸出入貨物ニ對シ出來得ル限り運賃ノ割引、特定運賃ノ設定等ノ方策ヲ講ズルト共ニ小運送費船車接續費其ノ他ノ附帶費用ノ遞減ヲ圖ルヲ要ス

(三) 國際聯絡運輸ノ擴張

本島及内地鮮滿間ニ旅客、手荷物及貨物連絡運輸ヲ實施セルガ其ノ利用者逐年増加シ成績見ルベキモノアリ而シテ本島文化ノ向上ト各種産業ノ異常ナル發達ニ件ヒ本島ト南支南洋間ノ經濟的交渉ハ將來益々密接ノ度ヲ加フベキヲ以テ本島ト南支南洋間ニ客貨連絡運輸ノ制度ヲ開始シ以テ運送ノ簡易化、中間費用ノ節減ヲ圖ルノ要

アリ而シテ之ガ實施方法トシテハ先ヅ臺灣鐵道及左記航路間ニ二線連絡運輸ヲ開始シ然ル後之ニ南支南洋陸上運輸機關ヲ加ヘ三線連絡運輸ノ實現ヲ期スルヲ要ス

- (イ) 基隆、廈門、汕頭、香港間
- (ロ) 基隆、福州、廈門間
- (ハ) 基隆、高雄、馬尼刺、セブ、ダバオ間
- (ニ) 基隆、高雄、タワオ、スラバヤ、スマラン、チエリボン、バタビア間
- (ホ) 高雄、廈門、汕頭、香港、廣東間

三 道路ノ新設改築

本島ニ於ケル幹線道路バ未ダ自動車ヲ通ゼザル區間多ク又其ノ路體ハ自動車ノ利用ニ適スルモノ尠キヲ以テ速ニ幹線道路全線ヲ自動車ノ交通シ得ル如ク新設又ハ改築スルト共ニ先ヅ臺灣一周道路ニ於ケル主要區間ノ路面ヲ鋪裝シ尙山地開發ノ爲必要ナル道路ヲ新設シ以

テ産業ノ發展竝ニ軍事ノ必要ニ備フルヲ要ス

第二 航路及航空路ニ關スル事項

産業ノ發達及貿易ノ進展ヲ圖ランガ爲南支南洋航路ノ整備、航空網ノ擴充、各種航空施設ノ充實竝ニ國際航空路ノ開設ヲ爲スノ要アリ

一 航路ニ關スル事項

商工業竝ニ貿易ノ振興ニ資スルガ爲商品ノ販路擴張竝ニ工業原料ノ輸入ヲ目標トシテ航路ノ充實ヲ圖ルト共ニ本邦商品ノ世界的進出力ノ旺盛ト本島ノ地理的優位トヲ利用シテ仲繼貿易ヲ助長シ兼テ航路ノ重要使命ノ一タル外國運賃ノ收得ニ努ムル爲華僑ノ移動ニ着目シ航路網ノ擴充ヲ圖ルヲ要ス

一 本島及南支南洋間航路ノ整備

- (イ) 南支那航路ノ改善

本島産業ノ進展及對南支貿易ノ趨勢ニ鑑ミ適切ナル航路ノ新設ヲ爲スト共ニ既設航路ノ改善殊ニ高雄廣東線、基隆廈門線及高雄上海線ノ使用汽船ニ付其ノ速力、旅客設備等ノ改善ヲ圖ルヲ要ス

(ロ) 基隆爪哇線ノ改善

南洋海運株式會社ノ設立ヲ機トシ本島及爪哇間航路ニ付寄港地ノ整理、航海回數ノ増加等之ガ合理化ヲ圖ルヲ要ス

(ハ) 基隆馬尼刺線ノ新設

最近基隆廈門間客貨ノ移動激増シ船腹不足ノ狀態ニ在リ尙廈門馬尼刺間ニ於テモ華僑ノ往來頻繁ニシテ一箇年二萬五千人ニ達スル狀況ナルニ拘ラズ兩地間ニハ航路トシテ英國船一隻アルノミナルヲ以テ速ニ廈門經由基隆馬尼刺線ヲ新設スルヲ要ス

(ニ) 基隆海防線ノ復活

本線ハ昭和七年三月廢止サレタルモノナルモ最近ニ於ケル日支

關係ノ好轉ト貿易ノ回復トニ因ル基隆香港間ノ船腹不足ヲ緩和スルト共ニ將來本島ノ工業ヲ目標トスル雲南、廣西、東京地方ヨリノ原料供給ニ備ヘ併セテ香港及海口、北海海防間ノ貨客輸送ヲ圖ル爲本線ヲ復活スルヲ要ス

(ホ) 基隆盤谷線ノ新設

邦品ノ販路擴張竝ニ工業原料ノ輸入ヲ目標トシ本島ト暹羅及佛領印度支那間ノ連絡ヲ圖ルヲ要ス

(ヘ) 基隆新嘉坡線ノ復活

本線ハ大正十四年末廢止セラレタルモノナルガ原料品ノ輸入及包種茶其ノ他本邦商品ノ輸出ニ備ヘ更ニ南支那及海峽植民地、佛領印度支那間ノ華僑ヲ對象トシテ本航路ノ復活ヲ圖ルヲ要ス

(二) 內臺航路ノ改善

本島ヲ仲繼地トシテ邦品ノ販路ヲ擴メ同時ニ本島貿易ノ進展ニ資

スル爲基隆神戸線ヲ改善シ速力ヲ増加スルト共ニ航海回數ヲ頻繁ナラシムルノ要アリ

尙高雄橫濱線ヲ整備シテ内臺定期航路ノ合理化ヲ圖ルヲ要ス

(三) 國際主要航路船ノ本島寄港

歐洲北米南米等ニ對シ直接貿易ノ途ヲ開クト共ニ觀光外客ヲ誘致セシガ爲國際主要航路船ノ基隆寄港ヲ實現スルヲ要ス

(四) 運賃ノ合理化

重要物産ニ關スル運賃ノ合理化ヲ圖ルト共ニ有望ナル仲繼貿易品ノ運賃ヲ低下セシメテ貿易ノ進展ニ資スルヲ要ス

二 航空路ニ關スル事項

輓近南支南洋ニ於テハ歐亞航空公司中國航空公司佛蘭西航空公司大陸橫斷航空路會社蘭領印度航空會社王立航空會社等相踵テ創設セラレ歐米各國航空施設ノ進展ハ刮目ニ値スヘキモノアルモ本島ニ關シ

テハ最近僅ニ内臺航空路ノ新設ヲ見タルニ過ギズ仍テ島内ニ於ケル各種航空施設ヲ整備シ島内及内臺定期航空輸送事業ヲ充實シ更ニ南支南洋ニ對スル國際航空路ヲ開設シ以テ貿易ノ振興觀光客ノ誘致等ニ資スルヲ要ス

(一) 島内航空施設ノ整備

航空事業ノ發展充實ヲ期センガ爲先ヅ臺北飛行場ヲ國際飛行場トシテ整備スルト共ニ臺中臺南高雄等ニ飛行場ヲ新設シ特ニ適當ナル地點ニ南方ニ對スル國際航空港トシテ必要ナル施設ヲ爲スト共ニ航空輸送事業ノ安全確實ヲ期スル爲臺北及臺南ニ航空無線電信局ヲ臺北臺南及宜蘭ニ航空無線標識局ヲ設置スルヲ要ス

(二) 島内及内臺定期航空輸送事業ノ充實

航空事業界ノ趨勢ニ鑑ミ速ニ本島内主要都市間ニ定期航空路ヲ開設スルト共ニ内臺間航空連絡ヲ確實ニスルガ爲現在ノ内地側終點

豫定地タル福岡ヲ東京ニ延長シ諸施設ノ改善充實ヲ圖リ臺北那覇鹿兒島大阪東京線ヲ開設シ以テ東京臺北間一日連絡飛行ノ實現ニ努ムルヲ要ス

(三) 國際航空路ノ開設

四圍ノ環境上有利ナル地位ニ在ル本島ハ南支南洋ニ對スル航空路即チ臺北福州上海線臺北廈門廣東線臺北香港新嘉坡線臺北馬尼刺線等ノ各線ヲ新設スルヲ要ス

第三 港灣ニ關スル事項

基隆高雄兩港ノ設備ヲ改善シ南支南洋諸開港ニ於ケル海陸連絡ノ改善ニ努メ以テ産業及貿易ノ進展ニ資スルノ要アリ

一 港灣ノ改善

(一) 基隆港設備ノ改善

基隆港ハ明治三十二年度以降國費ヲ以テ其ノ修築ニ着手シテ以來昭和九年度迄ノ投資額三千三百萬圓ニ上リ尙昭和十八年度迄ノ繼續工事期間ヲ有シ其ノ支出豫定額ハ八百四十萬圓ナリ而シテ此ノ現在築港計畫ハ三千噸級以上ノ汽船約四十隻ヲ同時ニ繫留シ一箇年貨物二百八十萬噸ノ岸壁荷役ニ適セシメントスルモノナルモ港勢ノ發展ニ鑑ミ内地及南支南洋間仲繼貿易ノ伸暢ニ資スルガ爲第四岸壁沿上屋倉庫外港西防波堤寄埠頭等ノ工事ヲ實施スルヲ要ス

(二) 高雄港設備ノ改善

高雄港ハ明治四十一年度ヨリ國費ヲ以テ其ノ修築ニ着手シテ以來昭和九年度迄ノ投資額二千七百九十萬圓ニ上リ尙昭和十二年度迄ノ繼續工事期間ヲ有シ其ノ支出豫定額ハ三百八十萬圓ナリ而シテ現在ノ築港計畫ハ三千噸級以上一萬噸級汽船二十六隻ヲ同時ニ繫留シテ一箇年貨物百萬噸ノ岸壁荷役ニ適セシメントスルモノナル

モ港勢ノ發展ニ鑑ミ貿易港及南方漁場開發ノ根據地トシテ其ノ發展ニ資スルガ爲テ峇雅寮岸壁沿陸上設備ノ新設新濱町既成埠頭設備ノ改良等ヲ圖ルヲ要ス

二 南支南洋諸開港ニ於ケル海陸連絡ノ改善

南支南洋ニ於テハ英米其ノ他外國商社ハ夙ニ巨額ノ費用ヲ投ジ完備セル海陸連絡施設ヲ爲シ本國經濟ノ發展ニ寄與シツツアリ然ルニ我が關係會社ニ在リテハ上海廣東香港新嘉坡スラバヤ等ニ一部ノ設備ヲ有スルニ過ギザル實情ナルヲ以テ速ニ棧橋倉庫等ニ付適當ナル設備ヲ爲サシメ以テ貿易ノ進展ニ資スルヲ要ス

第四 通信ニ關スル事項

南支南洋ニ對スル通信連絡ノ圓滑ヲ圖ルハ通商貿易ノ發展ニ資スル所大ナルモノアルヲ以テ郵便特別約定ノ締結電信直通回路ノ設定及

和文電報取扱範圍ノ擴大ヲ促進シ以テ料金ノ低減ト取扱ノ簡易化トヲ圖リ更ニ必要ニ應ジテハ國際電話聯絡ノ途ヲ開キ以テ産業及文化ノ進展ニ寄與スルノ要アリ

一 郵便

現在日支兩國ハ萬國郵便聯合ノ加入國ナルモ其ノ密接ナル關係ニ鑑ミ更ニ特惠的郵便約定ヲ締結シ郵便利用上多大ノ便益ヲ享ケツツアリ然ルニ香港澳門及南洋各地ニ對シテハ約定ナク郵便發受上不便不利尠カラサルモノアルヲ以テ特惠的郵便約定ノ締結ヲ促進シ料金ノ低減竝ニ取扱ノ簡易化ヲ圖ルヲ要ス

二 電信

本島ニ於ケル對南支南洋通信設備ハ臺北川石山間海底線及臺北香港臺北馬尼刺間無線電信連絡ノ三通信路ヲ有スルノミニシテ電信輻輳ノ現狀ニ副ヒ得ザルシミナラズ南支南洋各地ニ發着スル大部分ノ電

報ハ多ク内地其ノ他ヲ迂回スル實情ナルヲ以テ速ニ之ガ整備改善ヲ
圖ルノ要アリ之ガ爲ニハ本島及厦門汕頭廣東新嘉坡スラバヤ各地間
ニ直通無線回路ヲ設定シ更ニ本島海岸局ノ對船舶通信施設ヲ改善ス
ルヲ要ス

三 電 話

本島南支南洋間ニ發着スル通信ノ現況ヨリ觀ルニ未ダ電話連絡業務
開始ノ氣運ニ到達セザルモ將來通信量ノ増加ニ伴ヒ漸次之ガ施設計
畫ヲ考慮スルヲ要ス

第六號 文化施設ノ改善ニ關スル件

第六號 文化施設ノ改善ニ關スル件

從來臺灣總督府ノ南支南洋ニ對スル文化施設ニ付テハ相當見ルベキモノアリ年々三十萬圓内外ノ金額ヲ南支各地ニ於ケル新聞病院學校補助及學校教員派遣費竝ニ南洋ニ於ケル病院補助トシテ支出シ相互ノ理解ヲ深メ彼我親善ニ益シ經濟的提携ニ貢獻セル所大ナルモノアリタルモ尙遺憾ノ點尠カラズ仍テ報道宣傳教育醫療觀光等ノ施設ニ付更ニ一段ノ改善擴充ヲ圖ラザルベカラズ

第一 報道宣傳機關ニ關スル事項

近代報道宣傳機關トシテ最モ效果アルモノニ新聞ヲチオ等アリ總督府ハ從來此點ニ着目シ殊ニ新聞ニ付テハ福州及廈門ニ於テ財團法人善鄰協會ヲシテ機關紙ヲ發行セシメ之ニ補助金ヲ與ヘ日支兩國民ニ

第六號 文化施設ノ改善ニ關スル件

五七

E-1603

05:38

正確ナル記事ヲ提供シテ相互ノ國民的理解ノ増進ニ努ムル所アリタルモ同協會ハ充分ナル資金ヲ有セズ且圓爲替低落セル等ノ事由ニ因リ經營困難ニシテ充分其ノ使命ヲ果シ得ザル状態ニ在リ又ラヂオニ依ル報道宣傳ノ如キモ其ノ必要益々大ナルモノアルニ拘ラズ之ガ施設ニ關シテハ尙遺憾ノ點尠カラズ仍テ次ノ如キ改善擴充策ヲ講ズルノ要アリ

一 新聞

福州閩報及廈門全閩新日報ハ善鄰協會ノ機關紙トシテ隣邦ニ我ガ眞意ヲ諒解セシメ以テ彼我ノ親善ニ貢獻セル所尠カラザルモノアルモ其ノ物的竝ニ人的施設ニ於テ缺クル所多キノミナラズ最近支那紙ノ勢力ト排日ノ影響トニ因リ其ノ活動不振ノ状態ニ在リ仍テ同協會ニ對スル總督府ノ援助ヲ増シ有能ナル記者ノ増員通信其ノ他ノ施設ノ整備ヲ圖リ以テ紙面ノ改善擴張ニ努メシムルト共ニ兩新聞ニ便宜調

査部ヲ設置シ其ノ機構ヲ利用シテ諸資料ノ蒐集整理ヲ爲シ以テ諸施設竝ニ計畫ノ樹立ニ寄與セシムルノ要アリ

尙以上ノ外特ニ本島トノ關係密接ナル廣東汕頭香港等ノ要地ニ於テ新聞ヲ創刊セシムルト共ニ更ニ南洋各地ニ在ル我ガ報道機關ノ統制ヲ圖リ之ガ施設ヲ助成シ其ノ機能ヲ發揮セシムルヲ要ス

二 ラヂオ

南支南洋方面ニ於ケル在留邦人ハ母國ヨリノ放送聴取ノ點ニ於テ支那ノ強電力放送ニ依ル妨害又ハ地理的氣象的關係等ニ依リ同地方ニ在ル他ノ國民ニ比シ甚ダ惠マレザル状態ニ在リ而モ之等邦人ノ活動ハ母國情報ノ迅速ナル傳達ニ係ル所甚大ナルモノアルヲ以テ地理的關係密接ナル本島ニ於テ速ニ南支南洋向大電力放送局ヲ設置シテ其ノ聴取ヲ容易ナラシムルト共ニ進ンデ交驩放送及外國語放送ノ實施ヲ爲スヲ要ス

第二 教育施設ニ關スル事項

本島ノ南支南洋ニ對スル密接ナル關係ニ鑑ミ島内各實業教育機關ノ組織及教育内容ノ改善充實ヲ圖ルト共ニ彼地ニ於ケル邦人經營ノ教育施設ヲ整備擴充ニ努メ以テ將來南支南洋ニ於テ活動スベキ人材ノ養成上遺憾ナキヲ期スルノ要アリ

一 島内實業教育機關ノ内容改善

島内ニ於ケル中等程度以上ノ實業教育機關トシテハ現在臺北帝國大學附屬農林專門部ノ外高等商業學校及高等工業學校各一校農業學校三校商業學校二校及工業學校一校アルモ之等ノ卒業生中現ニ南支南洋ニ活動シツアル者ハ僅ニ六十餘名ヲ數フルニ過ギザル狀態ナリ仍テ之等既設各校ノ組織教科目ノ全般ニ互リ檢討ヲ加ヘ南支南洋經濟事情支那語馬來語等ノ科目ノ新設又ハ時間數ノ増加等ヲ圖リ一層生徒ノ同方面ニ對スル關心ヲ喚起セシムルニ努ムルト共ニ新ニ高等

商業學校貿易專修科水産講習所ノ如キ施設ヲ爲シ貿易又ハ産業ノ第一線ニ立チテ活動スベキ人士ヲ養成セシムル等適切ナル改善策ヲ講ズルヲ要ス

二 在留邦人子弟ニ對スル教育施設ノ改善

南支南洋ニ於ケル我が教育施設ハ邦人ノ發展ト共ニ逐年改善充實セラレ現在初等普通教育機關三十餘校アリ相當ノ成績ヲ擧ゲツツアリト雖モ設立者タル居留民團體ノ財政ハ何レモ教育方面ニ對シ到底現在以上ノ負擔ニ堪ヘ得ズ優良教員ノ招聘設備ノ充實ニ困難ヲ感ジツツアル實情ナリ斯クテハ邦人ノ南方發展ノ氣運ヲ阻碍スルノ虞ナシトセザルヲ以テ教員ノ派遣及之ガ待遇改善補助金ノ交付及増額等ニ依リ積極的ニ之ガ助成ヲ圖ルノ要アリ又之等ノ學校ヲ卒業シタル在留邦人子弟ニシテ上級學校へ進マントスル者ハ殆ド内地各學校ニ入學シ居ル現狀ナルモ本島ノ南支南洋ニ對スル特殊關係ニ鑑ミ之等生

E-1603

0540

徒ノ本島遊學ヲ勸奨スルト共ニ其ノ就學ニ付相當ノ便宜ヲ與フルコトトシ以テ我ガ南支南洋發展ノ基礎ヲ鞏固ナラシムルヲ要ス
尙現在廈門旭瀛書院ニハ修業年限三年ノ商業科ヲ置キ主トシテ本島籍民子弟ニ對シ簡易ナル商業知識ヲ教授シツツアルモ總督府援助ノ下ニ之ヲ商業學校トシテ獨立セシメ其ノ内容ヲ整備シ支那人ノ子弟ヲモ之ニ共學セシメ之等卒業生ノ提携活動ニ依リ益々日支親善並ニ貿易ノ振興ニ資セシムルノ要アルモノト認ム

第三 醫療施設ニ關スル事項

南支南洋ノ衛生狀態ハ概ネ不良ニシテ年々惡疫流行シ之ニ對スル醫療施設モ充分ナラザル現狀ニ在リ故ニ我ガ優秀ナル醫術ニ依リ疾病ノ治療ニ當リ以テ彼我ノ理解ヲ増進スルト共ニ在留邦人ヲシテ惡疫ノ脅威ニ對シ安ンジテ活動スルコトヲ得セシムルハ我ガ國民ノ海外

發展上極メテ緊要ノコトニ屬ス仍テ病院ノ擴張増設ヲ圖リ且之ガ機能ヲ充分ニ發揮セシムルガ爲醫師、產婆、看護婦等ノ養成ニ關シ適切ナル方策ヲ講ズルト共ニ熱帶病ニ關スル調査研究ノ徹底ヲ期スルノ要アリ

一 病院ノ擴張増設及援助

福州、廈門、汕頭、廣東各博愛會醫院及タワオ病院ハ何レモ該地ニ於ケル最モ進歩セル醫療機關トシテ民衆ノ信賴厚ク邦人ノ發展ニ資スル所大ナルモノアリ然ルニ何レモ病棟狹隘ニシテ傳染病棟ノ設備スラナキモノアルヲ以テ之ガ改築又ハ擴張ヲ必要トシ且各分科ノ分離獨立モ充分ナラザルヲ以テ專門醫ヲ配置シテ獨立分科ヲ新設スルノ要アリ

其ノ他南洋ニ於ケル醫療施設不充分ナル邦人集團地ニ病院ヲ新設セシメ又ハ之等ノ土地ニ於テ邦人ノ經營シツツアル病院ヲ援助シ邦人

ノ發展ニ資スルト共ニ彼我ノ理解増進ニ寄與セシムルヲ要ス

二 醫師、產婆、看護婦等ノ養成及援助

醫師、產婆、看護婦等ノ養成ハ醫療施設ノ機能ヲ充分ニ發揮セシムルト共ニ我ガ醫學及治療方法ヲ彼地ニ紹介シ之ニ依リ我ガ國ニ對スル理解ヲ深カラシムルノミナラズ之等養成機關ノ修了者ハ多ク我ガ國ヨリ醫療器具、藥品其ノ他必要ナル物品ヲ購入シ貿易上裨益スル所亦尠カラザルヘシ仍テ各博愛會醫院、タワオ病院其ノ他新設セラレヘキ病院ニ醫師、療屬養成機關ヲ附屬セシムルノ要アリ
尙邦人醫師ニシテ南支南洋各地ニ活動シツツアル者ハ他ノ事業家同様國運ノ進展ニ貢獻スル所大ナルモノアルヲ以テ之ガ援助指導ニ付考慮ヲ爲スヲ要ス

三 熱帶病ニ關スル調査研究

南支南洋ニ對スル邦人ノ移住發展ヲ容易ナラシムル爲熱帶地ニ於ケ

ル氣候的要素ヲ衛生學的ニ調査シ之ニ對スル邦人ノ慣化能及適應性ヲ明ニシ移住民ノ體質、年齡等ニ應ジ合理的ナル勞業樣式及生活法ノ樹立ヲ圖ルノ要アリ

尙マリア其ノ他ノ地方病竝ニ毒蛇、毒蟲ハ移住者ノ活動ヲ阻碍スルコト大ナルモノアルヲ以テ之ガ豫防及治療ニ付速ニ適切ナル對策ヲ講ズルヲ要ス

第四 觀光施設其ノ他ニ關スル事項

本島ハ景勝地ニ乏シカラザルヲ以テ觀光施設ノ改善充實ヲ圖リ南支南洋ニ於ケル觀光機關ト相提携シテ相互ニ觀光客ヲ交換スルト共ニ彼我協調シテ歐米觀光客ノ誘致ニ當ラバ國際親善ニ資スル所極メテ大ナルモノアルヘシ然ルニ現在本島ハ東亞遊覽券ノ利用ニ依リ福州、厦門、香港、廣東ノ諸都市ト連絡ヲ有スルニ過ギザル狀況ナルヲ以テ將

來南支南洋ニ對スル國際聯絡運輸ノ開設ト相俟ツテ本島ニ於ケル國際觀光事業ノ活動ヲ活潑ナラシメザルヘカラズ而シテ之ガ爲ニハ觀光組織ヲ整備統制シ觀光宣傳ヲ徹底セシメ觀光設備ヲ充實シ接遇ノ洗練向上ニ努ムルノ要アリ

尙觀光事業以外ニ於テ學藝ノ交換交驩運動競技會ノ開催等ヲ行フハ相互ノ親善ヲ増進スル上ニ於テ極メテ有效適切ナル方途タルベシ

一 觀光組織ノ整備統制

本島ニ於ケル觀光組織ヲ整備シ觀光機關ヲ有機的ニ活動セシムルガ爲官民合同ノ統制機關ヲ設ケルト共ニ各觀光地ニ地方的觀光機關ヲ設置スルヲ要ス

二 觀光宣傳ノ徹底

本島獨特ノ風光習俗産業等ヲ海外特ニ南支南洋ニ紹介シ以テ外客ノ誘致ニ資スル爲彼地ニ於ケル新聞雜誌ノ利用及案内所ノ設置宣傳印

刷物ノ發行觀光映畫ノ製作等ニ付考慮ヲ拂フヲ要ス

三 觀光設備ノ充實

本島ハ多クノ名勝地ヲ有スルニ拘ラズ之ガ利用施設ハ僅ニ地元ニ於テ設ケタル小規模ノモノアルニ止マリ之ガ開發利用ノ根本的計畫及其ノ實現ハ擧ゲテ將來ニ俟タザルヘカラザル實情ニ在リ仍テ速ニ各名勝地ニ完備セル觀光ホテルヲ設置シ自動車道ヲ開設鋪裝スル外必要ニ應ジ電車、ケーブルカー、ロープウェイ等ヲ建設シ所謂觀光徑路ヲ完備シ各種交通機關ヲ改善シテ旅行時間ノ短縮サービスノ向上ヲ圖リ又各觀光地ニ於ケル衛生保健娛樂設備ヲ充實シ風俗習慣ヲ異ニスル外客ニ快適ナル待遇ヲ與フル等諸般ノ改善策ヲ講ズルヲ要ス

四 接遇ノ洗練向上

外人觀光客ニ對スル關係官署ノ取扱ヲ可及的ニ統一簡易化スルト共ニ案内業者ノ素質向上ヲ圖リ觀光土産品ノ販賣其ノ他ニ關スル取締

ヲ嚴ニシ接遇ノ洗練向上ニ努ムルヲ要ス

五 國立公園ノ設置

本島ハ大屯山彙タロコ峽新高阿里山等ノ大風景地ニ乏シカラザルヲ以テ速ニ之等景勝地ノ調査ヲ爲シ國立公園ヲ設置シ自然ノ保護ヲ爲スト共ニ之ガ開發ニ努メ交通宿泊等ノ施設ヲ完備シ以テ海外觀光客ノ探勝上遺憾ナキヲ期スルヲ要ス

六 學藝ノ交換

本島及南支南洋相互ノ理解ヲ深メ國際親善ヲ増進スル爲臺北帝國大學各專門學校中央研究所等ヲ中心トシテ南支南洋ニ於ケル大學研究機關等ト連絡提携シ交換教授及學術研究資料ノ交換ヲ行ハシメ彼地學生ノ本島遊學ヲ勸奨スルト共ニ學生生徒等ノ視察團ヲ交換シ相互ノ文化施設ヲ比較考察セシムルヲ要ス

七 交驩運動競技會ノ開催

國際運動競技特ニ學生生徒ヲ中心トスル交驩運動競技會ノ開催ハ國民體位ノ向上ヲ期スル上ニ於テハ勿論相互ノ親善ヲ増進スル上ニ於テ極メテ有效ナル方途タルニ拘ラズ從來本島及南支南洋間ニ於テハ僅ニ比律賓トノ間ニ昭和四年以降隔年水上競技大會ヲ開催シ來レルト昭和十年七月廈門中華中學女子籠球選手團ヲ迎ヘタルニ過ギズ將來此種企畫ニ付考慮ヲ加フルヲ要ス

昭和十年十月十二日印刷
昭和十年十月十五日發行

臺灣總督府

印刷人 中村誠道
臺北市榮町一丁目二十八番地

印刷所 松浦屋印刷部
臺北市榮町一丁目二十八番地
合名會社

E-1603

0545